

FRONTIER



Contents

- ・令和4年度 東京同窓会 総会・創基150周年 大学の取組み
- ・新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会
- ・鉄道技師 大村卓一にみる北大の源流「フロンティア精神」
- ・創薬事業の経験を活かしスタートアップを支援
- ・グローバル同窓生〈寄稿〉・職場奮戦記〈寄稿〉・仲間のお店応援！

表紙の写真 (左から) 上: 西山結美さん、会津光農さん(絵画)、城戸佳織さん
 中: 宮内翔平さん、滝口良さん、高津俊司さん、眞鍋亮さん
 下: 鮫島惇一郎さん、松井博和さん、エルム囲碁サロンの皆さん、高津知弘さん

令和4年度 東京同窓会 総会 総務委員会	4
会長・副会長・理事・監事／年間スケジュール／委員会役員／評議員／	7
新役員・理事・委員長—新メンバーからの自己紹介	11
北海道大学創基150周年に向けた大学の取組み 山口淳二	12
新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会	14
「大学と市民の架け橋:新渡戸稲造遠友館建設にご協力を」 松井博和	
鉄道技師・大村卓一にみる北大の源流「フロンティア精神」 高津俊司	18
昭和の北大 永遠の日々を懐う 「古きよき昭和の北大」(後編) 鮫島惇一郎	20
エルム囲碁サロンの活動 深尾保章	24
風景との対話 「海面下に住む(オランダ)」 会津光農	25
グローバル同窓生 「私のコネクティング ザドッツ	26
独・日・米・中・印の企業を経験して」 城戸佳織	
「トロントFCで選手をサポート	30
スポーツの世界から見る日本」 宮内翔平	
「石油産業のフィールドを駆走中」 眞鍋亮	34
「モンゴルと日本の「今」をつなげたい」 滝口良	36
職場奮戦記 「持続可能な労働力の活用を	38
～東南アジアの教育・雇用・幸福を目指して～」 高津知弘	
スタートアップ 「創業事業の経験を活かし スタートアップを支援	42
～Craif(株) 西山結美さんに訊く～」 千脇美香	
仲間のお店応援! 広報委員会	44
海鮮食堂「余市」/ベルギービール専門店「コム・ラ・ゲース」/薬膳スープカレー「シャナイア」	
自家製モッツァレラチーズ「七富チーズ工房」/スパイスカレー「curry草枕」/Glass Fed Milk 100%「ミルクデザイン」	
名刺広告	48
北海道大学の近況(2021年冬～2022年春) 北海道大学総務企画部広報課	52
〈お知らせ〉 丸の内カレッジ/多摩霊園墓参の誘い/新入会員・訃報	58
4コマ「くらあくとの北大あるある」 高野葵	
北海道の花 「キキョウ」 鮫島惇一郎	60

企業広告

株式会社コスモスイニシア / 中外製薬株式会社 / 株式会社トクヤマ
 日本軽金属株式会社 / 株式会社ぶらう / 株式会社日建設計 北海道オフィス ※順不同

2022/08/20 No.61

世界 を変える。



トクヤマの放熱材料

高度化した電子部品の熱を逃す。
 性能を守る。
 トクヤマの放熱材料は、
 世界を変えています。

www.tokuyama.co.jp

もっと未来の人のために TOKUYAMA 

オンライン配信する本部の様子
(サビア会議室から配信)



令和4年度 東京同窓会 総会

■日時：2022年6月11日(土) 14:00~15:00
■場所：オンライン会議(Zoom)にて開催



山口淳 二理事・副学長



神和順 副学長



杉江和男 校友会エルム会長

2022年度の総会は、昨年に続きオンライン開催となりました。総会議事に先立ち、3名の方々よりご挨拶をいただきました。

はじめに、本学で総括・教育・校友会・同窓会を担当されている山口淳二理事・副学長(最高教育責任者)から、現在の大学の状況や4年後の創基150周年記念事業に向けた取り組みのお話をいただきました。

続いて、中国古典学術思想を研究されている文学部教授で、新渡戸カレッジは副校長をされている沖(ゆはず)和順副学長から、これまでの新渡戸カレッジの歩みや講義の様子、学生の海外留学に関連した海外の大学との交流についてお話をいただきました。

最後は、前東京同窓会会長で現在、校友会エルム会長の杉江和男さんより、校友会で取り組んでいる学生向けの活動のご紹介や、大学が進めている卒業生名簿のデータベース構想についてお話をいただきました。

横田会長からは、ご挨拶された方々へのお礼と、大学・校友会エルムと二層の連携強化を図るべく協力していく考えが示されました。

続いて総会議事が執り行われました。参加者は、会員911名に対して1/5以上(委任状提出211名、オンライン参加者67名)の人数であり、当日の総会は成立要件を満たしており、議事は横田会長はじめ井上副会長と梶谷副会長が議長となり始まりました。第1〜4号議案についてそれぞれの担当者より説明があり、いずれも参加者全員の賛成で承認されました。

第1号議案

2021年に関する「事業報告」は菅笠総務委員長「収支報告」は菅野財務委員長「監査報告」は鷺田理事よりそれぞれ説明があり、質疑応答の後、ZOOMの投票機能を使って承認されました。

(1) 会員拡大並びに組織強化活動
① 実績2480名(正会員911

名、メルマガ会員1569名)前年度より35名増。

② 『総会』を令和3年6月5日に開催。新型コロナウイルスの影響によりオンライン会議形式にて実施。

③ 『北大東京シンパ2021』は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止。

④ 『大忘年会』は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止。

⑤ 交流勉強会『北大丸の内カレッジ』をオンライン形式にて継続して開催。「農学校と卒業生の足跡に学ぶ」第1〜4回・申込み延べ271名、「私が見てきた北大発スタートアップの現状と展望」・申込み44名、「ゼロから始めるミャンマー会計事務所経営」・申込み22名。

⑥ 『新年交礼会』は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。

⑦ 『産業別エルム会』との交流促進(情報産業エルム会、食品産業エルム会)。

⑧ 各学部東京地区同窓会と連携(事務局長会議を開催)。

⑨ 『クラーク遺徳顕彰』(10月10日に多磨霊園墓参、16名参加)。

⑩ エルム談話室、囲碁クラブともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により北大東京オフィス会議室での開催中止。

(2) 財政基盤の強化
① 目標…「繰越金(単年度)残高300万円の維持・確保」に対し、

投票機能を使って承認されました。

(1) 会員拡大並びに組織強化活動

① 組織・交流委員会は同窓会組織を強化するための入会促進活動会員交流、キャリア向上等に寄与する企画を提供することを活動目的とする。コロナ禍で物理的交流ができない環境下で同窓会の存在価値を提示し会員維持に努める。

② 組織交流の場として下記活動を計画する。
・第8回北大東京シンパの開催
・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2022年度は開催せず、2023年5月の開催に延期
・ギネス世界記録挑戦の企画を実施し、かつてない圧倒的熱狂と一体感を体感できるようなイベントとする。

・交流勉強会の開催
・学びながら同窓生同士の交流できる場提供のため、オンライン会議形式にて『北大丸の内カレッジ』を継続して開催を予定。

③ 新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を



〔議長〕横田浩会長



〔司会〕松浦永治 総務委員長



菅笠 誠 総務委員長

第2号議案

2022年度に関する「事業計画」は菅笠総務委員長「収支計画」は菅野財務委員長よりそれぞれ説明があり、質疑応答の後、ZOOMの

- ① 400万円を見込む。
- ② 目標…「中期会計繰越金300万円維持・確保」に対し、530万円を見込む。
- ③ 広報委員会「モニター」の拡充
① 広報誌『FRONTIER』を8月、2月に発行した。
- ② 東京同窓会の案内チラシ作成(卒業生向け配布)により会員拡大を図った(予定していた「北大東京シンパ2022」のチラシは作成なし)。
- ③ ホームページの内容の充実化を図った(大学ホームページとの情報リンク等)。
- ④ 『メールマガジン』の発行をした(ネット会員の拡充)メルマガ会員23名増(前年比)。
- ⑤ 北大生涯メールサービス(大学が卒業生に生涯利用できるメールアドレスを付与)を活用した。
- ⑥ SNS(Facebook等)のソーシャルネットワークシステム)の組織的な活用をした。
- (4) 募金・産学連携
① 産学連携に向け企業を大学に紹介。
- ② 大学発スタートアップの育成(研究者・学生への起業支援、ベンチャーキャピタルの紹介等)。
- ③ 北大基金の効率的な運用(北大財務)に対するサポートを実施。
- (5) 総会・役員会等の開催
① 総会1回(6/5)、② 評議員会2回(9/16、3/17)、③ 理事会4回

- (9/16、12/9、2/17、3/17)。
- ④ 顧問・学部同窓会事務局局長会議1回(2/17)、⑤ 委員長会議1回(2/3)、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりオンライン会議形式にて実施。
- (6) 委員会の組織強化
① 各委員会の役割・機能の再整理・体制強化を図った。
- ② 委員長会議を開催し、各委員会の機能強化と体制の充実を推進した。
- (7) 校友会エルムの支援
① 東京同窓会のノウハウを共有して支援すべく、各委員会で活動を実施した。
- ② 校友会エルム主催の就職相談会(オンラインにて数回開催)を支援した。
- ③ 告知協力依頼への対応(メルマガ配信・HP掲載)。

北海道大学東京同窓会 令和4年度 会長・副会長・理事・監事

■は新任 ★は特命 会長・副会長の丸数字は夫々の就任年数 理事・監事の丸数字は評議員年数

会長	③ 横田 浩 (経S60)		
副会長	③ 井上 修平 (工S50)	⑨ 樋口 達夫 (水S52)	★ 石川 裕一 (法S54)
	④ 弘田 裕 (医S57)	■① 櫻田 功 (農経S58)	③ 志済 聡子 (法S61)
理事	⑰ 平田 更一 (理植S44)	⑬ 及川 正規 (工S47)	⑪ 松谷 有希雄 (医S50)
	⑥ 土屋 裕 (薬S50)	⑨ 松谷 寛 (工電S52)	⑤ 菅埜 誠 (経S52)
	⑦ 菅野 彰一 (工建S53)	⑬ 畠山 義彦 (水産S55)	⑨ 福西 真 (法S55)
	③ 小口 正範 (法S53)	⑯ 大久保 英俊 (法S56)	⑪ 畠山 昌則 (医S56)
	⑦ 福士 博司 (工合化S57)	⑤ 廣重 勝彦 (法S57)	③ 横井 成尚 (農S57)
	■⑬ 岩崎 哲也 (S59工機械)	④ 中村 秀治 (工建S58)	③ 近藤 伸一 (工院S58)
	④ 杉崎 順平 (歯S60)	⑦ 島田 久 (工S61)	⑬ 菅野 聡 (法S62)
	⑬ 高橋 寛 (農S62)	⑪ 西野 順子 (農院H01)	⑧ 橋本 大志 (理H01)
	③ 浅田 清 (歯H01)	⑯ 足立 直子 (工電H02)	■① 依田 智子 (工H02)
	⑯ 大西 裕子 (文修H03)	④ 平野 友善 (文H05)	⑩ 大野 隆明 (水修H06)
	⑫ 溝口 尚重 (農H07)	⑦ 滝内 邦弘 (情科院H07)	③ 松浦 永治 (法H08)
	④ 原田 武志 (工H19)	⑫ 常松 尚史 (経H20)	⑧ 山田 尚大 (工院H23)
	⑥ 上満 研吾 (経修H27)		
	特命理事	★ 野呂 忠一 (薬S39)	★ 伊藤 洋 (農生S48)
監事	⑫ 鷺田 千臣 (農S58)	⑩ 向井 拓 (法H5)	⑦ 沖崎 遼 (法H21)

北海道大学東京同窓会 令和3年度 スケジュール

	2022年 (令和4年)												2023年 (令和5年)			2023年 (令和5年)		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月			
1 総会			11日(土)												10日(土)			
2 評議員会						15日(木)						16日(木)						
3 理事会						15日(木)			8日(木)		16日(木)	16日(木)						
4 顧問会議 / 学部・学科同窓会事務局長会議											16日(木)							
5 新年交流会										20日(金)								
6 組織強化活動																		
			中止											21日(日)				
7 クラーク遺徳顕彰・墓参											9日(日) 當園墓参							
8 広報活動・会報誌発行																		
9 エルム談話室 <毎月第1金曜日予定>																		
10 ホームカミングデー															24日(土)			
11 校友会エルム総会															期日未定			

(注※)スケジュールは新型コロナウイルス感染症の状況により、延期または中止になる可能性があります。



菅野 聡 財務委員長



鷺田 千臣 監事

鑑みながら、1月の新年交流会の開催を計画する。

④ 産業別エルム会との交流促進(情報産業、食品産業を図る)。

⑤ 校友会エルムや各学部東京地区同窓会との連携強化(学部同窓会事務局長会議の開催)を進める。

⑥ クラーク遺徳顕彰(多磨霊園墓参の開催など)を実施する(10月9日を予定)。

⑦ 新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を鑑みながら、エルム談話室などの勉強会や囲碁クラブなど趣味の集まりの充実を図る。

(2) 財政基盤の強化と策定中

① 目標:「繰越金(単年度)残高300万円の維持・確保」。

② 目標:「中長期会計繰越金300万円維持・確保」。

(3) 広報会員「FRONTIER」の拡充

① 広報誌「FRONTIER」を8月、2月に発行する。

② 「北大東京シンパ2023」チラシを会員に配布。

③ 「北大東京シンパ2023」のポスターを学内掲示、会員にチラシ配布

また、卒業生に会員募集チラシを配布することで会員拡大を図る。

④ ホームページの内容の充実化を図る(大学ホームページとの情報リンク口等)。

⑤ 『メルマガジン』の発行をする(ネット会員の拡充)。

⑥ 北大生涯メールサービス(大学が卒業生に生涯利用できるメールアドレスを付与)を活用する。

⑦ SNS(Facebook等)のソーシャルネットワークシステム)の組織的な活用をする。

(4) 募金・産学連携

① 産学連携のサポート。

② 大学発スタートアップの支援。

③ 寄付講座の企画と斡旋。

④ 同窓会や外部への寄付の呼びかけ。

⑤ 北大ファンのコミュニティ作り。

⑥ 北大資金の効率的な運用サポート。

(5) 総会・役員会等の開催

① 産学連携のサポート(研究の価値が高まる連携を模索)。

② 大学発スタートアップの支援(人材の育成と調達、起業の資金や場所の確保など)。

③ 寄付講座の企画と斡旋。

④ 同窓会や外部への寄付の呼びかけ。

⑤ 北大ファンのコミュニティ作り。

⑥ 北大資金の効率的な運用サポート。

用サポート。

(6) 委員会の組織強化

① 各委員会の役割・機能の拡充と体制強化を図る。

② 委員長会議を適宜開催し、各委員会の機能、連携強化と体制の充実を推進する。

(7) 校友会エルムの支援

① 東京同窓会のノウハウを共有して連携・支援すべく、各委員会で活動をする。

② 『新渡戸カレッジ』へのフェロー候補を紹介支援する。

③ 本学主催の進学相談会並びに校友会エルム主催の就職相談会を支援する。

④ 告知協力依頼への対応(メルマガ配信・HP掲載等)。

第3号議案

松浦総務委員長より規約改定案についての説明があり、質疑応答の後、ZOOMの投票機能を使って承認されました。

規約改定案

オンライン会議形式での会議開催を明文化するため、規約を見直し、次のように改定する。

【理事会】

第14条

第2項に追加(以下、第3項とします)。

2 理事会は、必要がある場合には、出席者の意思表示等が相互且つ即時

に伝達できる状態を維持しつつ、インターネットシステム(オンライン会議システム等、電話会議形式を含む)の方法を用いて開催することができる。

【評議員会】

第15条

第2項に追加(以下、第3項とします)。

2 評議員会は、必要がある場合には、出席者の意思表示等が相互且つ即時に伝達できる状態を維持しつつ、インターネットシステム(オンライン会議システム等、電話会議形式を含む)の方法を用いて開催することができる。

【総会】

第16条

第3項に追加(以下、第4項とします)。

4 総会は、必要がある場合には、出席者の意思表示等が相互且つ即時に伝達できる状態を維持しつつ、インターネットシステム(オンライン会議システム等、電話会議形式を含む)の方法を用いて開催することができる。

第4号議案

管林総務委員長より2022年度の評議員人事案、ならびに、役員・理事・監事の人事案の説明があり、質疑応答の後、ZOOMの投票機能を使って承認されました。

北海道大学東京同窓会 令和4年度 評議員(学部)一覧表

学部 卒年	名前	就任 年数	理事	委員会	学部 卒年	名前	就任 年数	理事	委員会	学部 卒年	名前	就任 年数	理事	委員会	
農学部				理学部				文学部							
S48林	川喜多 進	14			S44植	平田 更一	17	理事	クラーク遺徳顕彰・墓参委員	H03文修	大西 裕子	16	理事	募金・産学連携委員会	
S50農化	丹羽 弘	11			S52地鉱院	勝島 尚美	10			H05文	平野 友善	4	理事	財務委員会委員長 総務委員会	
S57農化	横井 成尚	3	理事		S59数学	鈴木 徹	15			H20文	宗野 裕治	1		総務委員会	
S62農工	高橋 寛	13	理事	広報委員会委員長 募金・産学連携委員会	H14地球	相澤 晃	14			H28文	内山 壮	6		組織・交流委員会	
S62農工	瀬戸山 洋介	15			H19化	小坂 由紀	12								
H01農院	西野 順子	11	理事	組織・交流委員会副委員長						小計		4名			
H06農化	堤 崇史	2			小計		5名								
H18農研	伊藤 真吾	6			教育学部										
H22生農	二木 智	11			工学部				H03教育	中島 樹生	12				
H21共生	鈴木 克昌	11			S44機械	中塚 豊	16								
H23農院	青山 千穂	7		広報委員会	S45土木	清水 全生	4		クラーク遺徳顕彰・墓参委員	小計		1名			
					S47機械	留田 一英	11								
小計		11名			S48建	足立 守	12			法学部					
					S49建	中山 茂樹	10			S50法	新城 修	16			
獣医学部					S50金属	山崎 健男	11			S50法	奥野 滋	11			
S45獣医	采 孟	11			S52原子	大谷 武彦	15			S53法	小口 正範	3	理事		
S59獣医	矢原 秀博	7			S52金属	升光 法行	11			S55法	福西 真	9	理事		
H11獣医	米久保 和樹	6			S52電子	松谷 寛	9	理事	情報処理委員会委員長	S56法	大久保 英俊	16	理事	総務委員会 副委員長	
					S56合成	谷口 泰之	12			S56法	高見 之雄	11			
小計		3名			S56土木	野田 徹	6			S57法	廣重 勝彦	5	理事	募金・産学連携委員会	
					S57土木	本多 清暢	13			S61法	志斎 聡子	10	副会長		
薬学部					S57電気	松尾 望	11			H02法	山口 公範	15			
S49薬	近藤 達仁	11			S57土木	堀田 達	11			H02法	八谷 俊雄	15		広報委員会	
H50薬	土屋 裕	6	理事		S58建	中村 秀治	4	理事	情報処理委員会委員長	H03法	石橋 祐介	11			
					S58院	近藤 伸一	3	理事		H05法	向井 拓	11	監事		
小計		2名			S59機械	岩崎 哲也	13	理事		H08法	松浦 永治	3	理事	総務委員会委員長	
					S60機械	石田 充	15			H18法	渡辺 明日香	4		総務委員会	
医学部					S60機械	菊地 正武	15								
S50医	松谷 希希雄	15	理事		H02衛生	杉山 茂	3			小計		14名			
S56医	藤山 昌剛	11	理事		H01衛生	山本 有孝	3			経済学部					
S58医	福島 亮治	11			H02電子	足立 直子	16	理事		S51経済	降谷 義直	1			
S61医	大塚 吾郎	15			H03電子	鈴木 政直	7			S52経済	菅原 誠	5	理事	総務委員会副委員長	
S61医	森 清	15			H07合成	平島 亘	13			S57経済	永松 昌一	1			
H01医	杉森 裕樹	15			H07情科院	滝内 邦弘	7	理事		S60経済	横田 浩	4	会長		
H05医	松本 明部	9			H15情科院	山田 有史	10			S61経済	松山 哲人	3			
H13医	中田 勝巳	15			H17環境院	跡部 泰子	14			H07経済	藤井 考先	11			
					H21資源	中山 卓人	7			H13経済	坂本 茂	13		総務委員会 募金・産学連携委員会	
小計		8名			小計		28名			H23経	西館 卓人	4		総務委員会	
歯学部					H27経院	上清 研吾	6	理事	組織・交流委員会副委員長 財務委員会						
S60歯	杉崎 順平	4	理事		水産学部				H27経	谷畑 敦史	1				
H01歯	浅田 清	3	理事	クラーク遺徳顕彰・墓参委員	S52食修	樋口 達夫	10	副会長							
					S61食	中田 邦彦	11			小計		10名			
小計		2名			H03食	釜谷 明	14								
					H06食修	大野 隆明	10	理事	総務委員会副委員長						
					小計		4名								
										合計	92名				

S39薬	野呂 忠一	特命	理事		S48農生	伊藤 洋	特命	理事	
S54法	石川 裕一	特命	副会長	募金・産学連携委員会副委員長					

北海道大学東京同窓会 令和4年度 委員会役員

■は新任 丸数字は評議員の就任年数

委員会名	委員長	副委員長	委員
総務委員会 (事務局)	③ 松浦 永治 (法H08)	⑤ 菅埜 誠 (経S52)	⑬ 畠山 義彦 (水S55)
		⑯ 大久保 英俊 (法S56)	④ 平野 友善 (文H05)
		⑩ 大野 隆明 (水院H6)	⑬ 坂本 茂 (経H13)
			④ 渡辺 明日香 (法H18)
			■④ 宗野 裕治 (文H20)
			④ 西館 卓人 (経H23)
		○ 米子 智裕 (農H02)	
組織・交流委員会	⑧ 山田 尚大 (工院H23)	⑪ 西野 順子 (農院H01)	⑦ 久野 和哉 (経H24)
		⑪ 小中出 拓也 (工院H23)	⑥ 内山 壮 (文H28)
		⑥ 辻本 陽平 (情報院H25)	③ 山本 淳博 (環境院H30)
		⑥ 上満 研吾 (経院H27)	○ 後藤 さなえ (農S63)
			○ 関 良子 (法H23)
			○ 川原 史識 (農院H25)
		○ 田村 康将 (情報院H27)	
		○ 橋本 和太 (水院H28)	
財務委員会	⑬ 菅野 聡 (法S62)		⑥ 上満 研吾 (経院H27)
	④ 平野 友善 (文H05)		○ 波田 大専 (経H24)
広報委員会	⑦ 島田 久 (工金属S61)		① 陣谷 義直 (経S51)
	⑬ 高橋 寛 (農S62)		⑭ 八谷 俊雄 (法H02)
			③ 浦崎 稔史 (工院H22)
			⑦ 青山 千穂 (農院H23)
			⑥ 高野 葵 (環境院H25)
			① 谷畑 敦史 (経H27)
		③ 山本 淳博 (環境院H30)	
情報処理委員会	⑨ 松谷 寛 (工電S52)	⑤ 原田 武志 (工土木H19)	⑬ 浜名 純 (農S48)
	④ 中村 秀治 (工建築S58)		⑤ 千葉 寛之 (工情報院S63)
			■④ 依田 智子 (工H02)
			⑤ 大久保 高樹 (工合成H04)
			⑫ 溝口 尚重 (農H07)
		⑤ 長谷川 健 (理地惑H14)	
募金・産学連携委員会	⑤ 廣重 勝彦 (法S57)	④ 井上 修平 (工S50)	⑬ 高橋 寛 (農S62)
		⑦ 菅野 彰一 (工建S53)	⑬ 菅野 聡 (法S62)
		○ 杉江 和男 (工院S45)	⑯ 大西 裕子 (文修H03)
		★ 石川 裕一 (法S54)	⑫ 溝口 尚重 (農H07)
			⑬ 樫 裕史 (法H10)
			⑬ 坂本 茂 (経H13)
			⑬ 高橋 良佳 (医H16)
			⑬ 常松 尚史 (経H20)
			○ 永田 明 (農S54)
クラーク遺徳顕彰・墓参	③ 浅田 清 (歯H01)	⑰ 平田 更一 (理植S44)	④ 清水 全生 (工土木S45)
			○ 前田 直寛 (工土木S43)
			○ 清水 慧 (工衛生S43)
			○ 関口 光雄 (工土木S43)

創基150周年に向けた大学の取組み

北海道大学理事・副学長 山口淳二

皆様、こんにちは。北海道大学理事・副学長の山口です。

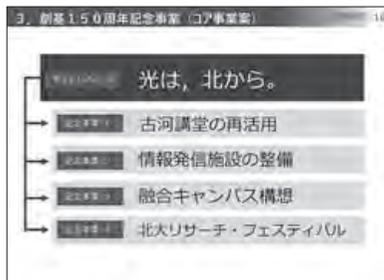
2020年10月資金総長の就任に伴い、総括、教育担当として理事を担当させていただいております。昨年4月より校友会・同窓会担当も務めております。先日6月11日の東京同窓会総会では、「北海道大学創基150周年に向けて」と題して少しお話しさせていただきましたが、今回それを文章としてまとめたいと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

まず、簡単に自己紹介をさせていただきます。私は、群馬県太田市の生まれで、埼玉大学理学部生化学科、名古屋大学大学院農学研究科(修士・博士)を修了した後、留学を経て、名古屋大学で助手、助教授を務めました。その後、2001年に北海道大学大学院理学研究科生物科学科に教授として赴任しました。従いまして、私は北大の卒業生ではないのですが、今は多様性の時代です。校友会担当理事として大目に見てください。お陰様で、今年3月に教授

としては定年退職となり、今は理事・副学長職に専念しております。大学全体の活動としては、特に新渡戸カレッジには開校当初から携わってきました。そのような経緯もあり、現在本学の教育全般のかじ取りをさせていただいております。

北海道大学は2026年に創基150周年を迎えます。ご存じのように、1876年の札幌農学校の開校以来、北海道帝国大学、戦後の新制北海道大学、2004年の国立大学法人化を経て、本学は現在に至っています。この間、本学は、地域社会はもちろん、国内外に数多くの人材を輩出し、地域と世界の発展に寄与してきました。また、先人達の努力の結果として、現在、世界でも有数の規模を誇るキャンパスを持つ総合研究大学へと発展を遂げました。

2026年は、



この150年の分厚い歴史と類稀な環境によって醸成された潜在力に磨きをかけ、唯一無二の「比類なき大学」として、次の150年のスタートにもなります。

私たち北海道大学は、「光は、北から。」を合言葉に、この創基150周年記念事業を進めます。これは資金総長が就任直後から使ってきた言葉ですが、「光」とは知識や思想といった様々な情報を意味するものだけではなく、Lofty ambition、つまり、この未曾有の危機の時代だからこそ、人道主義の理想の灯火をここ札幌・北海道から発信していくとの決意を



示したものと云えます。また、光が三原色から成り立つように、本学は、Sustainability、Innovation、そしてDiversityの3つのテーマを一丸となって推進することで、より明るい社会の実現を目指すとの決意も示しています。以上のように「北から新しい世界を作っていく」、その決意のもと、本事業を進めて参ります。

さて、創基150周年記念事業の概要について述べましょう。この事業の実施にあたり、企画運営委員会が設置され、資金総長が委員長となり、私が副委員長として事業を進めています。現在4つの記念事業の実施が決定しています。

まず、「古河講堂の再活用」です。古河記念講堂は1909(明治42)年に建築された本学の歴史ある建物です。本学正門を入って緑あふれる中央ローンの向かいに



古河講堂

育研究センター」棟として改修する計画が先行して進んでいます。こちらは「エルムの森プロジェクト」としてフロンティア基金の寄附事業になります。ともに改修が実現した暁には、このあたりは「はるかな明治の薫り」が漂う学内エリアとなりますので、同窓生の皆様にも広く利用してほしいと願っています。

次は、「情報発信設備(STUDIO 150)の整備」です。2026年を目指して、まずは情報発信や対外的なコミュニケーションを活性化するための拠点「STUDIO 150」を整備します。ここでは、周年事業の情報発信だけでなく、学外の自治体・企業との対話の場、社会連携拠点としての整備を進める予定です。

3番目は、「融合キャンパス構想」です。ここでいう「融合」とは、リアルとバーチャルの融合によるデジタルキャンパスの実現を意味します。周年記念として実施されるリアルなイベントを、時間と場所を超えてフルバーチャルで、より多くの参加者に体験してもらおうとの試みとなります。具体的には、360度バーチャルリアリティ(VR)シアターを学内に設置し、様々なイベントを圧倒的な臨場感で再現することになります。本学が保有する様々なデジ

タルリテラシーを基盤として、周年イベントだけでなく、本学の特徴であるフィールド科学の魅力についても参加者に体験してもらおうと考えています。例えば、太古の森や鉱山現場、広大な海上や宇宙空間など、私たちがなかなか辿り着けないところにバーチャルで行ってきましょう!、というものです。

最後は「北大リサーチ・フェスティバル」です。本学は従来、研究等を紹介するイベント(講演会、サイエンス・カフェ、体験会・講習会)を開催してきましたが、ここでは150周年を記念としてさらに活性化させようとの計画となります。

実施が決定しているものは以上となりますが、これだけではなく、現在、学生支援や学内施設のリニューアルについても検討を進めています。「同窓生の皆様とともに本学の未来を作り上げていく」、そのためには「本学の何に共感・応援してもらおうのか?」、このような視点を絶えず意識して本事業を進めて参ります。ご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

今回の周年記念事業は、本学にとって重要なマイルストーンとなります。とはいえ、これが達成されて終わりというわけではありません。むしろ私は、これが本学



エルム森のプロジェクト webサイト
https://wrc.agr.hokudai.ac.jp/

と校友会・同窓会の皆様との分厚い連携の始まりにしたいと考えています。その手始めとして、従来学部同窓会あるいは地域の同窓会が各々管理されていた同窓生名簿を大学として一体的に管理・運営する体制の整備を進めています。私たちはこれを「卒業生電子名簿(仮称)」の構築と称しています。これが実現することで、現役学生や比較的若い卒業生の名簿登録が効率化しますし、それを当該同窓会と共有することも可能となります。現在、校友会エルム(杉江会長)のもとで、現役学生の校友会入会事業を進めています。入会学生がそのインセンティブ(就職情報の提供、TOEICなどの英語試験の無料化、100円朝食の提供、等)を享受することで、卒業後も引続き各同窓会に入会してもらえよう体制整備を進めて参ります。こちらについてもご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

最後に、ホームカミングデーのお知らせです。コロナ禍で私たちは行動制限を余儀なくされてきましたが、今年是对面(オンライン)のハイブリッド方式)での開催を予定しています(感染状況を考慮しながら最終決定との注釈付きですが)。9月24日、お会いできまこと、楽しみにしております。

大学と市民の架け橋：新渡戸稲造 遠友館建設にご協力を

松井 博和 (S47・農 / S49・修士)



プロフィール
(一社)札幌農学同窓会理事
長、(一社)新渡戸稲造と
札幌遠友夜学校を考える会
理事長、北大名誉教授、元
農学研究院長

◇新渡戸稲造…その業績と
持続可能な開発目標SDGs

盛岡で生まれた新渡戸稲造は、東京英語学校で学んだ後、1877年に生涯の友となる内村鑑三や宮部金吾らとともに札幌農学校の二期生となりました。卒業後は約束されたこととして開拓使に採用され、2年後に東大に入るも1年で退学し、私費でアメリカに留学(1884)、アレゲニー大学、ジョンズ・ホプキンス大学で学びます。3年後には札幌農学校准教授としてドイツのボン大



新渡戸稲造(1862~1933)

学、ハレ大学に留学します。母校の教授となるも(1891~1897)、過労がたたったり休養のためのアメリカに滞在しますが、ここで名著『武士道』を刊、その後は台湾で製糖業の近代化(SDGs目標1・貧困をなくそう、目標2・飢餓をゼロに)、京都帝大教授、第一高等学校校長、東京帝大教授(同目標4・質の高い教育)、東京女子大初代教授、女子経済専門学校(現新渡戸文化学園)初代校長などジェンダー平等に貢献(同目標5)、国際連盟事務次長や太平洋問題調査会理事長として平和と公正に尽くすなど(同目標16)、教育・文化、世界平和のために多大な貢献をしました。SDGsの17目標の全てに素晴らしい足跡を遺した我が北大が誇る第一の偉人です。

◇50年続いた札幌遠友夜学校

新渡戸先生ご夫妻は、妻メリー(萬里子)さんの実家から得た莫大な資金で札幌遠友夜学校を創立しました。お二人は3年後に札幌を離れますが、運営は同期の宮部金吾や後輩の有島武郎、半沢洵先生らが引継ぎ、農学校や北大の先生と学生達600人以上が1944年までの50年間教

壇に立ちました。高倉新一郎先生や石塚喜明先生らも閉校時まで携わりました。子どもから大人まで誰でも差別なく無償で学べる、公に認定された大学による日本最初の社会教育の場でした。正規卒業生1116名、中退者も入れると56000名が人格尊重・自由・平等・博愛のもとで学びました。新渡戸先生の「無欲の奉仕精神」、「何人にも悪意を抱かず、すべての人に慈愛の心を持つて」、「学問より実行——人生の目的は人間として完成することにある」の教えが教育の原点となり、多くの有為の人材を輩出しました。この間の札幌農学校および北大農学部卒業生は5398名ですから、大学に引けを取らぬ大教育機関でした。この跡地(札幌市南4条東4丁目)は現在新渡戸稲造記念公園となっております。

(一社)新渡戸稲造と
◇札幌遠友夜学校を考える会
大学と市民の架け橋に

本会は、新渡戸稲造の教育者、国際平和主義者、札幌遠友夜学校創始者としての人間愛に満ちた高い見識と実践を、市民とともに学び、実践、継承、伝達し、よりよい社会作り貢献しようとする市民の有志が集まり、2013年に設立

されました。私は、2020年2月より2代目の理事長を務めております。

記念館建設を最大の使命として活動しています。新渡戸遠友館(仮称)を拠点に、未来を拓く

“新渡戸の子”を育成する様々な機会を提供します。

◆今、学ばべきこと◆の企画・提案
・共に学び、高め合う機会・場の提供

・学びを広げ、率いていく人の育成・輩出
・新渡戸稲造・萬里子夫妻の業績顕彰、および札幌遠友夜学校に関する史料や資料の展示

・新渡戸に連なる巨星たち、内村

鑑三、有島武郎、伊福部昭らの業績顕彰や資料の展示など。

企業や組織向けの講演会、北海道の歴史などを小中学生に、北大の模擬講義などを高校生に提供します。シニアの皆さんと武士道



松井博和・藤井茂・編 (2022年5月25日版)

新渡戸稲造の業績とSDGsとの対応一覧

新渡戸稲造の母校、北海道大学がTHEインパクトランキング2022の総合ランキングにおいて、2015年に国連が採択した「Sustainable Development Goals (SDGs: 持続可能な開発目標)」への取り組みで世界10位(日本国内1位)になったことを契機に、新渡戸の業績をSDGsの17目標にあてはめてみました。100年以上も前から新渡戸が先見性・先進性をもって持続可能な社会構築に大いに貢献してきたことが分かります。複数にまたがるものが多いのですが、どちらかと言えば…との編者判断をお許し下さい。

 貧困をなくそう <ul style="list-style-type: none"> 札幌遠友夜学校設立 (1894~1944) 「糖業改良意見書」(台湾総督府技師、1901) 『世渡りの道』21章 (1912) 『人生雑感』「慈善の要は自己の心を傾つにあり」(中央慈善協会理事、1915) 	 THE インパクトランキング2022 北海道大学 世界1位
 飢餓をゼロに <ul style="list-style-type: none"> 『農業本論』(1898) 	
 すべての人に健康と福祉を <ul style="list-style-type: none"> 東京医療生活協同組合中野総合病院 (現新渡戸記念中野総合病院) 開設 (1931) 	
 質の高い教育をみんなに <ul style="list-style-type: none"> 普通連女学校設立助言 (1885、開校1887、命名1889) 札幌農学校教授 (1891~1897) 京都帝国大学法科大学教授 (1903)、法学博士 (1906) 第一高等学校校長 (1906~1913) 東京帝国大学農科大学/法科大学教授 (1906) 拓殖大学学監 (1917) 軽井沢通俗夏期大学学長 (1918~)。途中、中断されたが現在も続けられている 	
 ジェンダー平等を実現しよう <ul style="list-style-type: none"> 英文『武士道』14章「婦人の教育および地位」(1900) 女子英学塾 (現津田塾大学) 助言者、顧問 (1901) 東京女子大学初代学長 (1918) 女子経済専門学校 (現新渡戸文化学園) 初代校長 (1928) 『人生雑感』の「婦人の力」「母の力」(1915) 河井道、津田梅子、安井哲、上代タノら、後の女子教育者の最大の援護者 	
 安全な水とトイレを世界中に <ul style="list-style-type: none"> 『編集余録』(1929~1933) 	
 エネルギーをみんなに。そしてクリーンに <ul style="list-style-type: none"> 『編集余録』(1929~1933) 	

でも学会シンポジウムや講演会、演奏会、映画会、「新渡戸カレッジ」研修などへの利用価値があることを踏まえ、市民と交わりやすい敷居の低いサテライトとして多様な利用を行って頂く予定です。大学と市民の架け橋になるのです。

北大の校友会エルクと学部、研究所、地域等の基礎同窓会が縦に横に繋がるように致します。第15代総長丹保憲仁先生、校友会エルク杉江和男会長、東

募金の納入方法

○募金額：2,000円以上、金額は問いません。

○納入方法

①銀行口座振込・振替

・ゆうちょ銀行

記号：19020 番号：3988211

加入者名：遠友夜学校を考える会

・北洋銀行本店営業部

普通預金 口座番号：6925551

加入者名：一般社団法人 新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会 記念館建設口座

・北海道銀行本店営業部

普通預金 口座番号：3274986

加入者名：(社)新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会 記念館建設口座

②郵便振込・振替

専用郵便振込用紙を事務局へご請求ください。

※銀行口座納入された方は恐れ入りますが、お名前とご住所を下記の事務局まで、メール、FAX、または郵便でお知らせ下さい。お名前をHPおよび記念館にお載せします。なお、公開を希望されない方はお申し出ください。

ことゝ、あとは資金のみです！母校を愛する卒業生の皆さん、どうか助けて下さい。一緒に、みんなが集う場を作して下さい。学生時代のコンパ1回分で結構です。積もり積もって大を為すのです。

◇募金の納入方法

既に多くの皆様方より暖かい応援を頂いており、心より感謝申し上げます。新たな方よりご寄付頂ける場合は下記要領でお願いいたします。なお、趣意に賛同した民間企業からは様々な形で応援を頂いており、下の自販機はその一例です。

一般社団法人
新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会

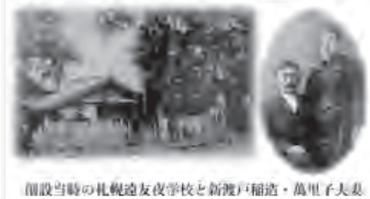
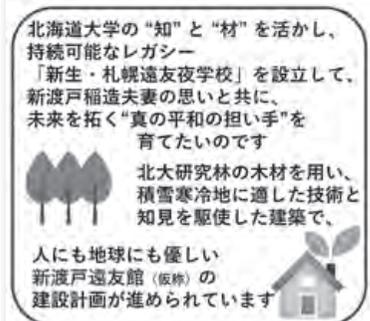
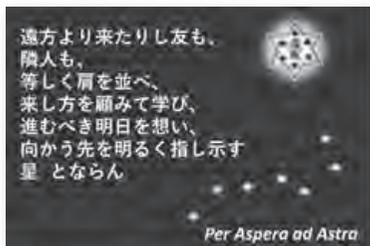
〒060-0061

札幌市中央区南1条西5丁目8 愛生館ビル

TEL:011-577-1441 FAX:011-241-1150

info@nitobe-enyu.org

http://nitobe-enyu.org/



募金型自動販売機
(北海道コカ・コーラボリテック(株)提供、新渡戸稲造記念公園)

	働きがいも経済成長も ・実業之日本社の顧問となり、『実業之日本』に月2回執筆 (1908～) ・『編集余録』(1929～1933)	
	産業と技術革新の基盤を作ろう ・『編集余録』(1929～1933) ・産業組合中央会岩手支会会長 (郷里岩手県の産業新興に尽力) (1931～1933)	
	人や国の不平等をなくそう ・『修養』(1911) ・『編集余録』(1929～1933)	
	住み続けられるまちづくりを ・講演「地方の話」(1907) ・「地方の研究」(雑誌に、1907) ・『編集余録』(1929～1933)	
	つくる責任、つかう責任 ・『編集余録』(1929～1933)	
	気候変動に具体的な対策を ・『編集余録』(1929～1933)	
	海の豊かさを守ろう ・『編集余録』(1929～1933)	THE インパクトランキング2022 北海道大学 世界17位
	陸の豊かさを守ろう ・『編集余録』(1929～1933)	THE インパクトランキング2022 北海道大学 世界18位
	平和と公正をすべての人に ・日米交換教授 (1911～1912) ・『人生雑感』の「何時戦争止む乎」「心の平和」(1915) ・国際連盟事務次長 (1920～1926) ・オーランド諸島帰属問題解決 (新渡戸裁定、1921) ・国際知的協力委員会設立に貢献 (現ユネスコの前身) (1922) ・太平洋問題調査会理事長 (1929)	
	パートナーシップで目標を達成しよう ・英文『武士道』(1900) ・『修養』(1911) ・『人生読本』の「人われに代り我人に代りて」(1934)	THE インパクトランキング2022 北海道大学 世界12位

京同窓会横田浩会長にも会の顧問に就いて頂いております。

◇北大創基150周年応援事業

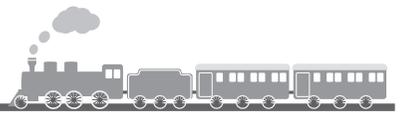
2026年に創基150周年を迎える北大では、新渡戸が学んだ時代から変わらぬ4つの基本理念、①フロンティア精神、②国際性の涵養、③全人教育、④実学の重視を踏まえ、持続可能な開発目標の達成にフロントランナーとして取り組んでいます。本年、英国タイ

ムズハイヤーエデュケーションによって、SDGsの取組が日本で1位、世界全体で10位と発表されました(THEインパクトランキング2022)。この高い評価は、札幌農学校から受け継いでき

たDNAによるものですが、その原型はクラーク精神を実践した新渡戸先生をはじめとする大先輩たちの活躍があったのもです。

その推進には、北大の知を学内に留めず広く分かち合い、議論し、実践することが肝要であり、それを可能にする“場”が必要とのことで、この度、本会が進める新渡戸稲造の記念館建設を北大創基150周年応援事業と位置付けて、最大のご協力を約束くださいました。“新渡戸”と“遠友”を、北海道、札幌、そして北大の魅力あるブランドとして、新渡戸遠友館(仮称)から発信できるように、設計、建築、研究林木材提供等、全面的な協力を頂いております。

北大から頂いたこの応援を、記念館完成後には、今度は市民が北大を応援するための事業とすることを約束します。そのために大事な



鉄道技師・大村卓一にみる北大の源流「フロンティア精神」



北炭工務課長時代の大村卓一
〔北海道大学大学文書館〕

◇はじめに

大村卓一氏は、北海道開拓鉄道に尽力し、最後は満鉄総裁まで務めた札幌農学校工学科の大先輩である。私は、大学紛争が激化する昭和四十四年に入學し、後に北大総長となる佐伯浩先生の指導を受けて卒業はしたが、当時は北大の歴史や大村氏の偉業も知らずにいた。国鉄に入社後に、国内の新幹線や都市鉄道の計画、建設などに従事し、在イラク大使館や国連にも出向したが、十数年前に、故郷である室蘭の石炭棧橋の設計・施行を大村氏が担当したことを知り、同氏について興味を持ち、その功績や人物像、明治から終戦までの時代背景や後藤新平などの関

◇大陸での活躍

大村氏は1918（大正7）年、第一次世界大戦下の複雑な利害関係が錯綜する大陸に転じ、シベリア鉄道管理技術委員会委員、鉄道技術統一委員会委員、支那黄河橋梁設計審査委員会委員に任命されるなど、主に国際舞台で広く活躍した。その後、1925（大正14）年には朝鮮総督府鉄道局長に就任、朝鮮鉄道十二年計画の策定や遂行に尽力した。

最後は満洲に渡り、関東軍交通監督部長、松岡総裁の下で満鉄副総裁、そして戦時下の満鉄総裁に抜擢された。大村氏の総裁就任期間は、1943（昭和18）年7月までの四年と三ヶ月余で、在任期間としては歴代二位にあたる。この間、満鉄は大村氏が主導した新



シカゴにおける同窓たち
（左から森広、仁木信雄、大村卓一、藤田昌）
〔北海道大学付属図書館〕

係する人々についても調べ、「北海道の開拓鉄道者、鉄道技師・大村卓一の功績」を出版した。

◇札幌農学校工学科と恩師廣井勇

大村氏は1872（明治5）年に、福井市に藩士の子として生まれ、札幌農学校工学科に廣井勇に学んだ。札幌農学校は1876（明治9）年に開校し、その後、



札幌農学校卒業記念写真
（1896年7月、中列の左端が大村卓一）
〔北海道大学大学文書館〕

大村氏は予科を首席で卒業し、特待生として授業料も免除されたようだ。中央寺の自炊寮で、終生の親友となる後の北大総長・高岡熊雄らとも出会っている。また、市民も参加した遊戯会（運動会のような大会）にも出場して入賞した記録も残っている。

線建設により、一万kmの路線網となった。

満鉄総裁を辞任後も家族や周囲の人々の本土への帰還の勧めを断り、大陸に残り終戦後、大陸の発展と祖国の復興を願いつつ本土の土を踏むことなく犠牲となった。先人が努力して建設したインフラは今日でも人々の役に立っているだろう。

大村氏にとっては、鉄道技術者としての北海道での経験やノウハウの延長線上に朝鮮半島の、そして満洲の鉄道による地域の開拓や経済発展の夢があったのではないか。

◇人物像

大村氏は札幌農学校における廣井勇から、学問的にも精神的にも大きな薫陶を受けた。同時に廣井勇と同期の内村鑑三や新渡戸稲造からの影響も大きい。大村氏はクリスチャンで、酒は飲まず、宴会ぎらいで、若い人との議論を好み、高潔なる人格とその博識は広く知られていた。裸体操を毎朝続け、思索と著作を好んでいた。最後の満鉄総裁の山崎元幹氏は大村氏を最も尊敬する人物として「鏡のような人である」と記している。大村氏は常に使命感と責任感を強く持ち続け、熱意と努力で日々の業務に最善を尽くした。ま



日本コンサルタンツ(株) 特別顧問
高津俊司(S48・工)

1887（明治20）年に工学科を設置し、1897（明治30）年までに第7回（16名）の卒業生を世に出した。大村氏はその六期生である。廣井勇は札幌農学校二期生で、開拓使、アメリカでの実務やドイツ留学を経て母校工学科の教授となり、小樽築港工事や後に東京帝国大学時代、多くの優れた人材を育成したことも有名だ。

大村氏は予科を首席で卒業し、特待生として授業料も免除されたようだ。中央寺の自炊寮で、終生の親友となる後の北大総長・高岡熊雄らとも出会っている。また、市民も参加した遊戯会（運動会のような大会）にも出場して入賞した記録も残っている。

◇創生期の北海道開拓鉄道

大村氏は、1896（明治29）年7月に北海道炭礦鉄道株式会社（北炭）に入り、若い鉄道技術者として、約20年間、路線の改良や新線建設計画などで活躍した。1902（明治35）年には、約一年間の欧米出張を命じられ、当時としては最先端の設備や技術を調査し、シカゴで同窓の友人達と会っている。この成果として、ラッセル車の導入や防雪機の設置に加え、室蘭、小樽港の木造の石炭棧橋の設計・施行を指揮し、効率的な石炭輸送に寄与した。北海道の鉄道は、北の大地の開拓を飛躍的に進め、日本のエネルギーを支え、食料増産や産業の発展に大きく寄与した。

た、若い人へ鉄道人として奉仕の精神を中心とした交通道を提唱している。大村氏の場合は、技術者としての信念や強い使命感は、札幌農学校の全人教育、実学重視、国際性を重視したフロンティア精神が基層となり、北海道の開拓鉄道の実務者としての経験から得たものである。さらに、クリスチャンとしてその使命に基づいて、多くの困難を克服して信念を持って行動することが違和感なくできたのかもしれない。

◇北大の源流としてのフロンティア精神

新渡戸稲造が台湾の糖業改良に寄与したことは有名であるが、台湾、朝鮮半島、樺太、満洲などの地で多くの札幌農学校・北大の卒業生が活躍した。私は、大村氏をはじめとする多くの先人達が、内外の厳しい困難な時代の中で社会的な使命を自覚し、高い志、先見性、熱意を堅持して献身的な努力を続けたことに心を打たれた。

札幌農学校は、北の大地でクラーク博士が蒔いた一粒の種が学生に伝わり、世代を超えて、そのフロンティア精神が根付いて大きく成長し、その輪がさらに広がり、日本国内外で結実した。北海道大学は札幌農学校の時代からの



旧室蘭駅
（かつて、大村卓一が設計した石炭船積み海上高架棧橋があり、効率的な石炭輸送に寄与した）

古い歴史と伝統を持ち、今なおその原点とも言えるフロンティア精神が受け継がれていることを誇りに思っている。

今日、コロナ禍でこれまでの価値観や仕事の仕方も含めて大きな変革期を迎えており、我々は今こそ母校の源流・フロンティア精神に立ち返り、未来を拓く時である。

◇まとめ

大村氏のあゆみを通じて、北海道や朝鮮半島、大陸の開拓鉄道の歴史を知り、未来を担うこれからの世代への参考になれば幸いです。

丸の内カレッジにてオンライン講演予定
【3回】9/18(日)、10/9(日)、10/30(日)
※詳しくはメルマガでご確認ください。



古きよき昭和の北大(後編)

鮫島惇一郎
(S25・理・植)

◇学内での幾つかの事件

騒ぎ、犯罪、事故など解ったよ
うで解らない事柄を事件と言いま
すが、北大で起きたそのいくつか
に触れてみましょうか。
まず低温科学研究所の正面入り
口の白壁からです。建物は戦後す
ぐ(昭和20年10月)占領軍に接収
されておりましたが、ほどなく返
還されておりました。その正面玄
関を入って驚きました。壁一面に
派手なパラスチートと若い女性が
描かれていたのです。研究、教育



雪の北大正門

の場である建物に！と割り切れな
い気分でありましたが、これは現
実なんだと思わないわけにはいか
なかつたです。
次は昭和23年11月25日(サンク
スギビングデー)の米兵による出
来事があります。札幌の市内から
問題が始まりました。北一条のト
ラック運転手が即死、北大病院の
助手、北大の農学部学生などが
拳銃などで強打(その後亡くな
る)、水産学部の学生から時計が
奪われ、やがて正門横で我が身が
拳銃で強打され現金800円が奪



雪に包まれたかつての低温科学研究所
1955年1月8日

われたのです。下手に抵抗すれば
何が起きるか解ったものでは有り
ません。為すがままにしておりま
した。これが正解でした。犯人た
ちは正門から立ち去ったのです。
彼らがいなくなったのを確認して
から、南門の守衛室にかけこみ
ました。洗面器の水は真っ赤で
したが、とにかく守衛さんに付き
添われ北大病院へ。「また来たあ
…」驚きの声と共に手当てをして
戴いたのです。嬉しさと安堵でし
た。市電で我が家へ。翌朝いきな
りジープに乗った駐留軍の将校の
見舞いを受けたのです。翌年から
長々と軍事裁判が続きました。後
日、犯人の兵士たちは本国へ送還
されました。

こまごましたものを除くと、昭
和25年5月にイールズ事件とい
うものがありました。傷害事件では
ありませんが記憶にあります。ま
だわが国に主権が回復されていな
いころ、民間情報局(CIE)顧
問のイールズ博士を招いての講演
会のできごとです。中央講堂で開
かれたつまらぬ講演中、いきなり
演壇を学生たちが占拠する騒ぎと

なつたのです。講演は司会者の
判断で中止でした。その責任を司
会者が負わねばならなくなりまし
た。左翼思想を極端に排除する時
代の一齣でありました。日本各地
の学校などで似たような雰囲気
を残し、彼は帰国したとか。

◇植物画のこと

館脇先生は「もうさん」とか
「親方」とかの愛称で親しまれて
いました。失礼ながら先生は、画
は駄目だといわれるのでした。
従って、ことあるごとに本の挿し
絵などを私がお手伝いすることに
なるのです。ある日、これが手本
だとカラフルな挿し絵の束を見せ
てくださいました。そしてチョウ
ノスケソウやヒダカソウの絵を描



ノハナショウブ園にて
2018年6月30日

いて欲しいといわれるのです。手
本は「北海道主要樹木図譜」の原
画を描かれた須崎忠助さんの絵で
した。臨教時代にみせて戴いた、
植物分類学教室の秋山茂雄先生の
東垂産のスケの画は黒一色の細密
画でありましたが、これはまったく
別な魅力がありました。これらの
感動は、東京エルム新聞や現在
もお世話いただいているフロン
ティアの挿し絵まで続いているの
です。「三つ子の魂百まで」なん
ていうではありませんか！

◇大学校内を走る石炭列車

昭和26年頃だったと思います。
農学部の裏とか、ポプラ並木あた
りが騒々しいのです。砂利が運ば
れなにより土木工事でした。枕木
が並べられ、やがてレールまで敷
かれるではありませんか。
まだその頃は、冬になれば石炭



石炭を置いて大学内より桑園駅へ帰る
貨物列車1953年9月27日

以来、秋を迎えると校
内に汽笛が細いながらも
聞こえたのです。しかし
こうした燃料は石炭から
石油へ置き換えられ、昭
和40年頃には消えていっ
たとか、時代のながれで
す。
ポプラ並木と蒸気機関
車の引く石炭列車です。
なかなか良い構図であり
ましたが…。

◇洞爺丸台風

昭和29年9月26日、忘
れられない日です！当
時、学内に山好きが集
まって山岳会がつくられ
ておりました。会員は幅
広く、教職員、事務職員、病院の
看護婦などを巻き込み、北大山岳
会といいました。
秋の山を楽しもうと空沼岳登山
があったのです。まず一日目は空
沼小屋で祝杯！です。日が変わり
ます。どうも空模様芳しくあり
ません。しかし、空沼岳のてっぺ
んまで行って、札幌岳をまわって
定山溪に出ようという人たちがあ
ずかりました。

札幌岳の頂まで行った頃、吹く
風が穏やかではありません！岩に
しがみつかながらやっと一同通過
です。雨も加わりました。強い風

は樹々の大枝までへし折るほどで
した。途中にある冷水小屋に避難
しようという者もおりましたが、
一刻でも早く札幌へ帰るのが正解
でありましょう。まだ定山溪鉄道
の電車は動いていて大助かりでし
た。札幌の街はあちこち停電して
おりました。テレビなどない頃で
す。翌朝の新聞でやっと被害の全
貌が明らかにされつつあったので
す。洞爺丸をはじめ五隻の青函連
絡船の沈没、乗客の死亡、岩内の
大火や痛ましい事故などが掲載さ
れておりました。いわゆる洞爺丸
台風でした。

◇カラー写真の登場

物事を記録するのに写真が使わ
れるのは普通のことでありました
が、やはり色が附いているほうが
よいですね。素人も簡単に彩色
された写真を撮りたいですね。
昭和26年頃だったと思います。
テストに使ってみませんか？とカ
ラーフィルムを一本預かりまし



農学部1953年7月19日

より校内のどこかに
大きな貯炭場を設
け、ここから各施設
まで運んだほうが割
安だというので、や
がて工学部の北の広
場に貯炭場がつくら
れました。大学校内
を列車が走るなんて
さすがスケールので
かい北大だと妙に感
心いたしました。



工学部の南 大野池(今のハス池) 1954年3月20日



白垂館といわれた工学部1955年9月12日

た。現在のようにはボタンを押すだけではありません。光量を計ったり、シャッタースピードを決めるなど、細々とやらなくてはならない時代でした。

さて何を撮ろうかしらと出向いたところが白垂館といわれた工学部の南、大野池でありました。その池は今でも蓮池として整備されており、多くの人々の憩いの場となっております。

◇ 石狩低地帯をめぐる諸問題

院生たけなわの頃です。低地帯の地質学的変遷、植物、動物たちの移動や変化、加えて人文地理的な課題も含めて石狩低地帯の自然の移り変わり、役割などについて総合的な話が持ち上がりました。ばらばらになりがちな課題を一つ

に纏めて、興味ある話がたくさん提供されたのです。

この後です。札幌の東端にあるモエレ沼を調べて見ようか、何か面白そうなことが見つかるかも知れぬと地質屋の一人がいいます。というわけで沼を訪れました。泥炭地のご真ん中の沼でありました。所々に泥炭の固まりが積み上げられているではありませんか、冬の暖房用なんです。近々と初めてみる光景でありました。それなりに調査したつもりだったのですが、中身はどうであつたのでしょうか？後日、ウトナイ湖、千歳川流域の大小の沼などにも足をのばすのですが、興味ある低地帯の沼は無数にあつたのです。

やはりエンレイソウの集団遺伝的解析に精をださねばならないのでした。



オオバナノエンレイソウの体細胞染色体
上：普通に染色した染色体(胚内産)
下：退色反応を示している染色体(白老産)、開花した植物体を、0℃で48-72時間低温処理をすると胚珠組織細胞の分裂像染色体に模様が変わる。これを手掛りにして変異と進化の解析が進められた。(Haga & Kurabayashi 1953)

オオバナノエンレイソウ染色体
上は普通に染めた染色体
下は低温処理をして染めたもの

◇ さて一息入れてみましょうか？

校章にもなっているオオバナノエンレイソウの染色体の退色模様や外部形態の違いなど、これまでの成果をまとめると、道南(東北地方を含む)・道東・道北など三地域に分けられるのでした。道南域では個性豊かな独立形、道北域は低温気候に従って似通ったものばかりです。しかし、道東域では染色体の退色模様はさまざま、花や果実の形だつて大小ませこぜでした。そして興味あることはこれら三者が出会える地域として、石狩低地帯があつたのです。

◇ 無人の渡島大島へ渡る

その年の3月になりました。我が理学部では卒業生の送別会がありました。そして4月です。北大

助手(理学部)に採用すると通達を受けました。差し当り実験温室の管理をやれというのです。これは有り難かつたですね！銭んこ払つていた学生生活からさようならということなんです。5月になりました。理学部玄関のクロフネツヅジが満開でした。

地質学教室の勝井義雄さんがやつてきました。渡島半島の先っただけどその島を調べてみないか？というのです。勝井さんは石狩川源流総合調査以来の仲間です。異存はありません。地質や植物だけでは物足りません。動物屋などにも声をかけてみたのですが参加希望者はおられません。結局、地球物理の村瀬勉さんだけでした。

勝手に「渡島大島総合科学調査隊」などと名を付けて出掛けるこ

◇ エイレイソウ園と実験用イグルーの建設

このエイレイソウの集団遺伝的解析には、生の試料を確保しなければなりません。従つて採集地が増えると理学部温室の畑ではもう満杯でした。どこかに良い場所は無いだろうかと探したらありました！我々の教室の南、ハルニレの林の中はどうでしょうか？土地だつて肥えているにちがいないありません。理学部当局に倉さんが掛け



理学部中庭のイグルー製作(屋上から撮影、今の総合博物館)

とになったのですが、経費は全て自腹。6月、江良町から漁船に乗せてもらつて大島上陸です！島の植生は自然そのまま、夢中でした。勝つちゃんも感激いっぱい。村瀬のトムも地磁気の測定に大わらわ。東山や西山、それに中央火口丘なんて勝手に名付けて歩きまわりました。ミヤマオオダマキの大群落、高い地熱域のハハコグサやスナゴケの群生地など全てが眼に新しく感激の連続でありました。

夜中のオオミスナギドリに密漁など、無人島の現状を見たのも初めてでありましたが、そろそろ食料も底をつきかけました。携帯電話なんかまだありません。約束の日が待ち遠しく、北海道本島を遠く青く眺めるだけでした。

迎えの船がやっと来たときは嬉しかったですね。星がキラキラと輝く夜中、穏やかな浜が何故か時

合つてくれました。結果OK！でありました。そうなるかと忙しくなります。芝生をまず剥がして入れたいです。スコップは健気に働いてくれました。立派なエイレイソウ園が出来あがつたのです。採集地が増えたとこれなら大丈夫です。来る春が待ち遠しくなります。

各地で集めたオオバナノエンレイソウの染色体の退色模様を調べる時期がまいります。そのためには開花寸前の花の蕾の低温処理がどうしても必要で、マイナス零度に48時間ほど低温で処理して、退色模様を調べなくてはならないのです。それまで鉢植えの個体は低温室や雪室で処理しておりましたが、今年は温室で育てた個体が多すぎました。小さな雪室ではもう間に合わず、研究者一同どうしたものかと大変困りました。そこで提案されたのが、大型のイグルーを造つて大量に処理しようという案でありました。ならば我が理学部の中庭が陽も当たらずに最高という結論になりました。試験材料の処理ですから、取り出し口の形はいろいろ考案されましたが、これもめでたく解決しました。昭和30年の2月です。まだ現役の学生諸君の応援までもらつて大量の試験材料の処理が可能になったのです。嬉しかったですね。

◇ 農林省林業試験場北海道支場へ出向

長かつた理学部形態学教室との生活も終わりの日が来ます。日本植物学会北海道大会のエクスカッションが終わると、思い出深い場所から、何やら面倒臭い公務員になるのかと考えたのですが、止むを得ない事情もありました。

担当の課題は「林木の育種」と聴きました。昭和31年7月1日でありました。



ボブラ並木 1953年9月9日

理学部の植物学教室を離れてからなんと65年が過ぎてしまつたんですね。懐かしい日々が思い出されます。昨日のことのように思い出されます。手稲山が輝いております。多くの人々、豊かな自然に感謝をこめて…また明日！

エルム囲碁サロンの活動

幹事 深尾 保章 (S48 理・化)

当サロンは15年ほど前に囲碁好きの同窓生が数名集まって同好会を立ち上げました。

初期の頃は碁盤、碁石、対局時計等を揃えるなど、ご苦労も多かったようです。その後、会員数は徐々に増え続け、今では初級者(初心者)から高段者まで20名ほどになりました。

毎月第二木曜日の午後にはサピアタワーの会議室をお借りして烏鷲(うる)を戦わせておりました。(烏鷲とは、黒白の碁石を黒い方ラスと白のサギに比喻した囲碁用語です。)

また、春夏秋冬、年に4回名人戦と称して大会を開いています。



学士会館(2022年5月12日)

大会ではくじ引きで対戦相手を決め、一日に四局打ち、その勝敗によって順位を決め、そして順位に応じて賞品(賞金)を授与しています。過去の最多参加者は16名でした。(碁盤が8面しかないのでギリギリでした。)

囲碁は置き石の数でハンデを調整しますので、初級者にも優勝のチャンスがあります。また、大会の後は祝賀会と称する懇親会もあり、優勝者のスピーチも少しはありますが、ほとんど囲碁の話と学生時代の思い出などで盛り上がりつつあります。

コロナ禍の影響で、サピアタワーの会議室が使えなくなりまして、全ての活動を自粛しておりましたが、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が発令されていない時期には例会を開いてほしいとの会員からの要望があり、都内の適当な会場を探した結果、感染対策をしっかりとして実施している市ヶ谷の日本棋院(囲碁の殿堂です)や神保町の学士会館等を利用して月例会を再開しております。もちろん感染対策上、大人数になる大会や懇親会はすべて中止しております。



第21回名人戦(2019年9月)

右の写真は2019年9月の大会(第21回名人戦)です。後列左から大槻(理48)、丸山(理48)、吉原(水46)、尾中(農41)、糸田(法34)、君島(工43)、加賀谷(理48)、谷中(工44)、前列左から3位・出村(工45)、大島会長(工28)、優勝・深尾(理48)、準優勝・佐藤(水46)です。また、上の写真はサピアタワー

の会議室が使用禁止になって以来、利用している学士会館で撮影したものです。入館時に体温測定、手指消毒するのはもちろん、皆さんマスクを着用しアクリル板を挟んで対局しています。

囲碁は、老若男女、大人から子供まで誰でも楽しめる頭脳スポーツ(Mind Sports)、今や海外においてもファンが多く、アメリカやヨーロッパでは「GO」が共通用語になっていきます。

囲碁は特に右脳を使うゲームですので、医学的にも右脳を刺激し、判断力を高め、ストレス解消に効果があることは既に認められております。さらには、ボケ防止、脳卒中のリハビリ、予防面でも囲碁の効能が注目されております。

当サロン北大卒業生のみならず、北大で勤務経験のある方にも参加していただいております。

初心者の方にも高段者が手取り足取り丁寧に指導しますので、短期間で上達すること間違いなしです。囲碁に興味のある方は一度覗きに來られますか?

同窓会事務局にお問い合わせいただければ、次回の例会の場所等、ご案内を差し上げます。

風景との対話

海面下に住む(オランダ)

会津光晨 (S40 工・建築)

空路、スキポール空港に近くと水路に囲まれた緑と黄色のパッチワークが見えてくる。オランダの国土は九州とほぼ同じ、人口は約1755万人(2021

年)。国土の26%が海面下にある。オランダは低地(ネーデルラント)につくられた国である。湿地帯に水路をつくり、水を風車で高い堤防の外に汲み上げて抜き、干拓地を造り上げてきた。埋立てではなく水を抜いた干拓地のため多くの海面下の土地が生まれた。

幼いころに読んだ本に「堤防に小さな穴があいているのを見つけた少年が命をかけた自分の腕で堤防の穴をふさいだ」という話があり、海面下の町の恐怖を空想した記憶がある。これはアメリカの女流作家が書いた児童向け物語だったらしい。

オランダ西部では内側に緑の自然地帯を抱え込むようにして環状都市圏が形成されている。首都アムステルダムから列車で市街地を過ぎるとすぐに平らな牧草地や畑の風景が広がり、運河が空間を区切る。20分もすると新たな町に入り、抜けると、また平らな田園風景となる。司馬遼太郎は「オランダ紀行」で同行者の夫人

ティルさんが「オランダの画家の多くは、空を描きます。景色といえば八十パーセントが空ですから。」と話したエピソードを紹介しているが、17世紀オランダの画家ロイスダール等の絵を思い出す。20世紀の画家モンドリアンや建築家のリーフェルト達の直線的な抽象主義(デ・ステイル運動)は網目模様のオランダの土地の影響があるのだろう。

アムステルダムの町は狭い間口の、高さが揃った建物が運河の両側に建ち並ぶ。建物の下には木杭がぎっしりと打ち込まれているという。少し傾いた建物もあるようだが、現在も修復しながら使われている。

アムステルダム中央駅から運河ツアーの船が出ている。船は幾



カーブする運河



アムステルダムのクルーズ船より

つもの橋をくぐり、心地良く曲がる川筋(黄金のカーブ)を進む。所々に水上生活者のハウス・ボートが係留されている。水上に住む権利を持ち水道やガスもあるらしい。1600年に日本に漂着したオランダ船の乗組員、ウィリアム・アダムスやヤン・ヨーステンは健康に厚遇された。半円形運河で構成されたアムステルダムの街は江戸の街づくりに影響を与えたように思える。

*この寄稿文は今回のコロナ禍以前に旅した記録を元にしている。

私のコネクティングザドッツ 独・日・米・中・印の企業を経験して

●15年以上前からリモートワーク

新型コロナウイルスの流行で、リモートワークというのが急に脚光を浴びました。この原稿を読んでいる皆さんはリモートワークをされているでしょうか？ちなみに私はコロナの15年ほど前からリモートワークで海外企業に勤めています。グローバルな働き方＝海外勤務では必ずしもありません。私がリモートワークを始めた当時はまだZoomはなく、コミュニケーションと言えば電話かメールでした。ですがブロードバンドが普及してインターネットが問題なく国境を越えて使われるようになり、こうした働き方もストレスなくできるようになりました。今日は私がどのようにしてこのような働き方をするようになったのか、これからもっと多様な働き方をされる若い方たちのために、書こうと思います。

●私の大学生生活

どちらも発見するという意味では同じ仕事ですね」と言ったのです。それまで私は不真面目ではないにしろ、日々仕事をやり過ぎていたことに気づき、はっとしました。思い起こせばその上司は本当に化学実験が好きで、毎日毎日嬉々としてベンチに立っていました。有機化学の教科書のように詳細でありながら、圧倒的なポリュームの実験ノートを日々生み出す知性とパワーに、私は正直めまいを感じていました。

私にとっては尊敬の対象でしかなかった彼も、管理職としては会社からよく思われていませんでした。企業が、他人より突き抜けた個性と能力のある人材を、うまく使いきれない典型でもあり、保守的な日本企業が、外国人の従業員にうまく対応できない例でもありました。会社と上司のごたごたを傍で見ていた私は、日本でも外国人と同じ職場で働く機会は今後もっと増え、いろいろな問題が起ころうと考えると、グローバル環境におけるビジネスマネージャメントを米国で学ぶため、MBAを取ることにしました。と、言うところ聞かえはよいですが、圧倒的な才能の上司と自分を比較し、自分には研究者としての才能はないとあきらめ、違う道を模索しはじめたというのが正直なところでした。

私は1986年に理Ⅱ系に入学し、薬学部薬学科に進学、卒業後は同大学院製薬化学専攻科で学びました。リケジョがまだまだ少ない時代で、比較的女子学生の多い薬学部においても、修士課程の同級生40名中、女子学生は5名という状況でした。さぞかし真面目に研究に取り組んでいたのでは？と思われるかもしれませんが、実は私は昔から歴史や経済学など、どちらかというと社会学系の勉強が好きでした。理系に行ったのは、家が貧乏だったので、理系に行けば家庭環境に関係なく、それなり専門的な仕事に就けるからという理由でした。



大学時代に同級生と初めて行った利尻礼文の旅

入社して5年ほど経ち、ちょうど1000万円程度の軍資金も手元になりました。

●簡単に世界とつながるアメリカ

ビジネススクールに行くことはい立ってから実際に渡米するまで半年ほどしかなく、十分な準備もできないままの渡米でした。最初は本当に英語で苦労し、恥ずかしながらビジネススクールに通っていましたが別の大学のESLに通っていました。最初は1年で完了する経営学コースに入学しましたが、途中からとてもついていけず、2年のコースに変更し、一方で貯蓄を少しでも減らさないよう、週20時間、大学の図書館で働きました。授業が終わった後、主に夜のシフトで夜11時半までアルバイトをしていました。毎日時間との闘いだっただけで、一方で様々な面白い出会いもありました。私とはりわけ中国人留学生に多く接しましたが、彼らは米国のトップの大学に留学してトップの成績をとるような超優秀で、しかも性格もよい人ばかりでした。その中には20年以上たった今でも、つながっている友人がいます。残念ながら普通の中国人とはあまり縁がなく、私の中国人観は、良い方になり偏っていると感じます。ですがこの経験が後のキャリアにもつ

位の倍以上好きな科目を履修し、専門科目以外(?)はすべて優という成績でしたので、特に苦勞もなく薬学部に進学しました。薬学部では実験ばかりで楽しいというよりも大変だった記憶の方が多いです。サークル活動などは一切なし、バイトと実験に追われる生活でした。ですがこの経験が、後の私のキャリアにいろいろな意味で役に立ったと思います。

●社会人になってはみたものの

修士課程修了後、就職活動でいろいろすったもんだがありました。1年間北海道医療大学助手をした後、ドイツバイエル社の農薬部門の日本の研究所に研究員として働くことになりました。最初の部署は農薬の作物残留試験や代謝研究を行う部署で、私が入社した年は、後に「ネオニコチノイド」として問題になる新しい殺虫剤が上市されたタイミングでした。当時は追加試験や登録業務に忙殺されており、月によっては100時

ながったと感じます。

●カナダの大学を経て日本に帰国

MBAを取った後はまっすぐ帰国せず、カナダに2年ほど寄り道し、日本に帰国後は住商ファーマインターナショナルという商社に勤めました。そこでは最初投資ファンドのマネージメントやファンドの投資先の審査などにかかわっていましたが、後に当時徐々にプレゼンスを現し始めた研究・製造受託企業の仕事にかかわるようになりました。担当は中国、インド、ロシア、オセアニアでした。医薬研究・製造受託企業に関してはこの地域のビジネスがその後圧倒的に大きくなったため、意図せずそうした企業の大躍進を後に目の当たりにすることになりました。

●最初は中国

2006年、商社時代の顧客だった中国企業に誘われて入社しました。それまで日本にある外資系企業や商社などで勤務し、海外企業とのやり取りは慣れていましたが、直接海外企業に採用されるのは初めてでした。しかも一人だけ日本で仕事をできるということ、最初はかなり不安でした。今は問題ありませんが、当時は中国から

間近い残業があり、社の上会

社が、大学の研究室時代に比べれば、全く大変だとは思いませんでした。

入社して2年ほど経った時、会社がバイエル社の100%子会社になり、私がいた分析部門が縮小され、一部がドイツに集約されることになりました。その時、ドイツの同じ部門に行くか、日本の別の部署に移るかということになりましたが、ドイツでは博士号を持たない研究者が研究者として活動するのは難しいと思います、日本で元の専門だった合成の部署に移り、ドイツ人の上司の元でしばらく仕事をすることになりました。ある時、仕事の休憩時間の何気ない会話の中で私が「本当は大学で考古学を勉強してミイラの発掘をしたかった」という話をしたところ、その上司が、「考古学は古いものを発見する仕事、今の仕事は新しい化合物を発見する仕事、

の外貨送金も簡単ではありませんでした。ちなみに入社した際の頃は、お給料が1カ月、2カ月遅れることはザラでした。

会社は医薬品の研究を受託する企業で、私は日本やその他アジア地区でのビジネスディベロップメントを担当していました。日本の製薬企業など創薬プロジェクトを中国にある研究所で実施するように営業する仕事です。ただし会社はどこに営業に行きなさいとも言いませんし、知り合いを紹介してくれるわけでもありません。自分で仕事をもらえそうな企業を調べて、コンタクト先を探し、その企業にあつた提案をするという仕事です。試薬のように実際に商品があるわけではなく、創薬研究という、研究者さえまだ具体的なプロ



中国の国営研究所 Shanghai Synchrotron Radiation Facility (SSRF)

Jubilant Biosys Limited
Senior Director
Business Development
城戸佳織 (H4・薬・院)

私たちがつくっている薬の多くは、ふだん接することはあまりない。
 けれどその薬があることで守られているふつうの暮らしが、きっとある。
 病気になってしまったとき、ちゃんと治療法があること。
 それはこの世界になくってはならない希望。
 当たり前の日々を守り抜くために、今日も新たなイノベーションを。

なんでもない1日を守れ。



創造で、想像を超える。



Roche ロシュグループ

中外製薬

グローバル同窓生



ジェクトの詳細を描き切れていない内容についてプロポーザルに落とし込んで提案するというのは、1件当たりの金額も大きいことも手伝って、難易度は高かったと今でも思います。

当時は中国の上海と四川省の成都に研究所があり、私は年に半分くらいは中国に行き、日本のお客さんを連れて行ったり、中国にいる同僚と会議に出たりということをしていました。日本企業の場合、海外進出の際はまず海外に子会社を作つて事務所を借り、事務員も雇つてということが多いようですが、外資系企業の場合はまずは1人、現地の人間を在宅で採用して営業させ、売上が大きくなれば必要に応じて現地事務所を設立することが多いと思います。私が採用された当時は、このスタイルが定着する直前くらいのタイミングでした。

● **米国企業に転職**
 きつかけは米国の同業他社に勤

米国内企業には2年ほどいました。私の入社と同時期に入社した社長が、それまでの会社の方針を変え、ビジネスの主流を研究受託からジェネリック原薬ビジネスにシフトさせ、私が辞める直前には会社がファンドに買収されました。そこで現在仕事をしているインドの同業他社に転職しました。会社は生き物なので、社長が変われば環境も大きく変わり、辞めたくなくても辞め時が来ることもあると思います。



成都の研究所時代
日本のお客さんと会食



原薬製造の受託担当者として
お客様を案内した中国の原薬製造施設



Jubilant Biosys Limited(インド)で会食

インドの同業他社に移った経緯は、先の米国企業のシンガポール研究所長だった同僚の日本人が、研究所閉鎖でクビになり、私が今勤めるインドの会社にひと足先に勤めていたからです。会社が日本で営業活動を始めるので、来ないかと誘われたのです。

カナダから日本に戻った時の就職活動は本当に大変で、少なくとも100社くらいに履歴書を送りましたが、その後はすべて口コミでの就職です。お給料の交渉もほぼ言い値で決まり、履歴書も採用が決まってから送っています。

ネットワークが大事ですね。ちなみに今のインド企業は、社長がイタリア人でイタリアに住み、研究所関係はすべてインドにあり、営業部隊は米国、ヨーロッパ、日本に住んでいるという状況です。営



仕事でもプライベートで訪れるインドの
グジャラート州の遺跡「女王の階段井戸」

● **最後に**
 仕事においては専門性を深く追求したい方もいるでしょうし、思いつくまゝいろいろ学びたい人もいるでしょう。愛着のある会社にならずと勤めたいという人もいれば、とにかくポジションや待遇を高めるため、とことん転職してキャリアアップという考えの人もいます。それぞれが一番いいと思う選択をすべきだと思います。人生半分過ぎた私が言えるのは、人生に無駄なことは何ひとつないということです。回り道だと思つたことが、後で生かされることになったことがあります。ステイプ・ジョブズのいう、「connecting the dots」ですね。ただ必要なことは、チャンスがめぐつて来たら、それを積極的につかみに行くべきということ。自分には荷が重いかから、家族のことが気になるからと躊躇すると、次の運が巡ってくる頃には、死んでいるかもしれせん。残念ながらチャンスという扉は、人生でそんなに何度も開いてはくれないので、思い切つて飛び込んで流れに身を任せるのも大事だとも感じています。ちなみに私は今年の夏、国政選挙にチャレンジすることにしました！

トロントFCで選手をサポート スポーツの世界から見る日本

MLS Toronto Fc
Athletic Therapist
宮内翔平
(H16・農)

● 北大時代

私はもともと広島出身ですが、北海道という自由な雰囲気への憧れと地元から離れたという思いから北大に入りました。大学では、自分が何をやりたいのか、何が楽しいのか、何が人生の中で重要な事なのかを考えるいい時間を過ごしたと思います。

● 北大時代

高校でサッカーをやっていたのでサッカー部の練習に参加してみたところ、当時の4年目の先輩方

まだ認知度が低い職業ですが、アメリカやカナダでは、プロチームはもちろん大学や高校のスポーツクラブで広く認識されています。また、クリニックの開業権もあるため、クリニックを開いて幅広い年齢層を健康の部分からサポートしている人も多数います。何故私が北米・カナダに来て、この様な職業に就き、家族を持ち生活しているのかというのは北大時代まで遡ります。

やチームの熱量と雰囲気は強く惹かれるものを感じ、そのまま4年間サッカーに打ち込みました。そこで自分の身体と向き合い、自由で寛大な文化にふれ、自分がやりたい事をやっていたいのだという思いを育みました。

幼い頃から山に囲まれた環境で育ったこともあり、農学部に進み、農業工学を専攻しました。また、クラーク博士が残した北大の校風や、国際的に活躍する人材を育てるための幅広い教育を学ぶこ

とができたと思えます。振り返れば、言語に関する講義や Philosophy に関する講義が、今こうしてカナダにやって来た根本にあったと感じます。農学部専門課程に進んだ後の教授と学生の関係も特徴的で、学生にやりたい事があるなら、先生方もそれを尊重する方針でした。それは生徒主導型のカナダの大学に似ていると思います。当時、サッカー部のチームメイトとも将来海外に行つて挑戦したい、という話をしていて、その思い出します。

● 筑波大学時代

4年生の夏、サッカー部を引退してから、自分の心の中に大きな



家族とMLS CUPの優勝トロフィー

空白が出来ていました。話すのがあまり得意でなかった自分には、スポーツというモノが自分を表現する方法として大事であったという事に気づきました。これからの人生でもスポーツに関わりたい、スポーツで自分を表現する選手をサポートしたいという気持ちが強くなり、スポーツ医学という分野に挑戦する事を決意しました。

スポーツ医学のある大学院にくつこコンタクトし、鹿島アントラーズのチームドクターをされていた筑波大学の宮川教授のもとで学ぶことになりました。農業とは全く違う分野に入ったという事もあって、遅れをとっていたいながらも、人の身体に関わることへの責任を徹底的に叩きこまれ、人の心理や身体に関わることに改めて魅力を感じながら、またチームのサポートを通じて、みんなで共通の目標に向かって行くことが自分はやはり好きなことなんだということ

生と教授の関係性です。教授が分かりにくい授業をすると学生は遠慮なくそのことを伝え、改善を求めます。学生は自分達は授業料を払っているのだから、ちゃんとした授業を提供してほしいといったスタンスで、学生と教授は対等な立場にあります。教授陣はしっかりした授業を提供するというプレッシャーがあるので、質の高い教育が保たれ、教育環境としてもいい関係が出来ていると感じました。

Football League に属する Edmonton Eskimos と FC Edmonton という北米の Independent League に属するプロのサッカーチームが職場となりました。

プロのスポーツチームで働くという楽しさ、また責任を感じながらもやりがいを感じ、自分の進むべき道が少しずつ具体化しました。自分がプロフェッショナルとしてどのようにサポートしていきたいかを考え、人の身体についてまだまだ知らないことがたくさんある中で、その身体の神秘と謙虚に向き合い、現場に落とし込むこ

● 現在・トロントで思うこと

Athletic Therapist のウェブサイトに掲載されていた求人募集から、現在の Toronto FC に転職しました。Toronto FC は、NHL (北米アイスホッケーリーグ) や NBA (北米バスケットリーグ) にもチームを持つスポーツ企業の傘下であり、MLS の中でも大きな規模のチームです。

数々の失敗の経験から、人の身体をもっと知りたい、追求したいと感じ、自分の師匠であった福田崇さんがスポーツ医学を学んだカナダ行きを決心しました。福田崇さんは筑波大学出身で、カナダに渡り、日本人で初めてカナダの Athletic Therapist の資格を取り、現在も日本代表のオリンピックチームを始め、数々のトップアスリートをサポートし、母校でも associate professor として活躍されています。

生活の面では、英語を話す暮らしや、色々な国籍の人がいる移民の国で、それぞれが個性をもって活躍していることに魅力を感じましたし、自分は自分らしくすれば、周りのみんなが個性として認めてくれることを実感しました。また、カルガリーの日本人コミュニティで生活やビザなどの色々な助けを受け、コミュニティの大切さを痛感しました。

所属チームのリーグ優勝を経験し、チームがコミュニティに与える影響の大きさを実感しました。また、トロントで子供が生まれ、家族としてカナダの社会に関わりながら、政府の方針や教育システムなどを身近に感じるようになり、カナダという国に一層魅力を感じています。

日本においては、出る杭は打たれる雰囲気はまだ残っているように感じますが、カナダにおいては、SPECIAL な所はほとんど伸ばしていく、子供にはそ



● カルガリー時代

筑波大学で学んだ後、カナダのカルガリーにある大学の体育学部でスポーツ医学を1年間専攻しました。そこで一番驚いたことは学

● エドモントン時代

カナダのエドモントンで長く目指してきた Athletic Therapist として職を得ます。Canadian



カナダ エドモントンのアメフトチーム「Edmonton Eskimos」

日本においては、出る杭は打たれる雰囲気はまだ残っているように感じますが、カナダにおいては、SPECIAL な所はほとんど伸ばしていく、子供にはそ

日建設計「気候非常事態宣言」

1. 私たちの働き方を革新し、日建設計の企業活動に起因する温室効果ガス排出を2050年にゼロとします。
2. 2050年の都市・建築デザインと働き方のカーボンニュートラルモデルを目標として提起し、2021～2050年で必要となる対策を年次計画として提示します。
3. これからの地域のあり方を展望し、インフラと建築の機能を融合した柔軟なシステムによる身近なカーボンニュートラルを提案します。
4. 企業の環境配慮を評価するスクリーニングシステムの構築を支援し、ESG 不動産/都市基盤投資の促進に貢献します。
5. クライアントと緊急行動の必要性を共有して課題解決を支援します。さらには社会に向けて発信して共感を呼びかけます。

執行役員北海道代表 久保田 克己 (工・昭59・建)

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED

株式会社 日建設計 北海道オフィス
札幌市中央区大通西8-2住友商事・フカミヤ大通ビル
Tel. 011-241-9537 Fax. 011-261-7673
URL: <https://www.nikken.co.jp>



北米サッカーリーグ(MLS)「Toronto FC」



MLS CUP優勝メンバーと

れぞれに強みと弱みがあり、その子供に就いて教育を進めていけばよいという方針に共感します。日本のスポーツは、子供の成長に沿った育成方針が比較的できていると感じられますが、さらにもっとよくする余地があると思っています。日本という環境では当たり前にならなっていることが、ワールドワイドな視点で見るとまだまだ偏っているところがあります。すし、素晴らしい部分もあります。ひとつ例を挙げるならば、日本の教育の強さは、協調性を重んじ、相手の事を考えて行動する事です。カナダや北米の強さは、自己主導型で自分の意見を発言し、

また他人の意見が違ってもそれはそれで良いとするところだと思います。ラグビーの日本代表チームなどは、海外選手の日本への移民や帰化が進んでいると思いますが、それは、スポーツの分野における海外選手の移民や帰化のルールがシンプルで、結果が明確だからだと思います。カナダに10年以上住み、スポーツや運動に携わってきた経験を活かして、機会があれば、国の枠を超えたスポーツ選手などの交流の仕組みや教育の面などで、日本の社会に貢献していきたいと強く感じています。

東京基準より北海道基準、北の夢。

☆ **ぷらう**

代表取締役社長 石川 裕一

株式会社 ぷらう

〒060-0063

北海道札幌市中央区南三条西4丁目12-1 アルシュビル8階

TEL: 011-219-2223 FAX: 011-219-2885

北海道大学

ホームカミングデー 2022

日時: 2022年9月24日(土) 会場: 北大学術交流会館



HOKKAIDO UNIVERSITY
HOME COMING
DAY 2022

Be ambitious again!

<ハイブリッド開催>
WEBでの参加もOK!



【プログラム】(予定)

- 9:55～ 北大交響楽団による演奏(ライブ配信)
- 10:00～ 歓迎式典(ご挨拶)(ライブ配信)
・北大総長 實金清博氏
・校友会エルム会長 杉江和男氏
- 10:25～ ご来賓挨拶(ライブ配信or動画配信)
- 10:35～ 記念講演会(ライブ配信)
- 11:25～ 学生による活動報告(ライブ配信)
- 11:40～ 「都ぞ弥生」(動画配信)



ご注意) 新型コロナの感染状況などにより内容が変更になる可能性があります。詳しくは大学ホームページでご確認ください。



石油産業のフィールドを駆走中

● 北大生として

初めて大阪・堺の親元を離れて、1987年4月に札幌へ来ました。両親には「学業を頑張る」と言った舌の根も乾かぬうち、体育会アメリカンフットボール部 Big Green に入部、その後の4年間のほぼ全てを注ぎ込むことになりました。4年時には主将を務め、ある意味「青春を謳歌」することができました。

学問では、資源開発工学の道に進みました。大学院の修士研究で「自身の研究がどのように社会に貢献するのかわか」を実感したことで、



Big Greenの仲間と大学1年冬の合格発表(中央65番が筆者)

教員志望だった私が、技術者として社会に出たい、と思う動機付けになりました。また、漠然と「世界を見てみたい」という思いもあり、就職では石油公団(当時)に入り、石油技術者として一歩を踏み出しました。

● 初めての海外駐在・米国の大学院への留学

社会人となって数年間は、井戸を水平に掘る技術や深海に眠る海底油田を開発する技術など、当時の最先端技術に触れることができ、夢中で取り組みました。出張でも、米国や欧州のみならず、アラブ諸国や東南アジアにも訪れるなど、学生時代に思っていた「世界を見る」機会にも恵まれました。

初めての海外生活は、社会人5年目の1998年、29歳の時に米国オクラホマ州にあるタルサ大学石油工学科博士課程への留学で始まり、その3年間は、授業と実験で常に時間に追われていたが、充実した日々でした。学位取得の瞬間は忘れられません。3時間超に及ぶ博士論文の口頭試

問と審査委員会が終わり、指導教授が微笑みながら歩み寄り、握手して言ってくれた「Congratulations, Dr. Manabe!」にはとても感激しました。

独身だったこともあり、時間を見つけてはグラウンドキヤニオンやナイアガラ等の大自然や、ニューヨークやワシントンDC等の街を訪れ、アメリカの豊かさや奥深さを実感しました。トランプ政権以降、日本でも米国に対する様々な意見があると思いますが、私にとっては今でも、多様性を受け入れる懐の深い国であり、感謝と尊敬と憧れの対象です。

● メガプロジェクトの一員としてインドネシアへ

2度目の海外駐在は、39歳となった2009年から、国際石油開発帝石株式会社(現、株式会社INPEX)の大水深ガス田・LNG開発プロジェクトの500名を超える組織の立ち上げメン



ジャカルタ駐在時代の職場の仲間(右から2番目が筆者)

バーとして、インドネシア・ジャカルタへの駐在でした。自身も日英・インドネシアの混成8名の部下を持つ初めての管理職としての任務で、文化や考え方の違いに悩みながらも楽しむことができました。

インドネシア人は人懐っこく、我々外国人にもフレンドリーかつオープンに付き合ってくれますが、仕事を上では多少オープン過ぎることもあります。駐在直後の異文化ワークショップでインドネシア人講師に「インドネシアにはプライバシーという概念はない」と思ってた下さい」と言われたことに驚きましたが、それが冗談ではないこともすぐに理解できました。部下の一人にこっそり伝えたことを、翌日、課長が知っていたなんてこともざらでした。おかげで、



駐在期間5年半で、コミュニケーション不足で困った記憶は余りありません。妻と2人の駐在生活でしたが、家族ぐるみで付き合い友人達にも恵まれ、ジャカルタでの日々は、私たち夫婦にとって思い出深いものとなっています。ゴルフは、妻と共通の趣味の一つとなり、今でも一緒にプレーをしています。社内の夫婦対抗コンペや某商社との定期戦も良い思い出ですが、一番はゴルフ七帝戦での優勝です。



ゴルフ七帝戦の北大優勝を伝える現地日刊紙「じゃかるた新聞」

国内でのシェールオイル事業への参画と、メキシコでの鉱区取得と探鉱が主な任務です。意気揚々と赴任したものの、着任後2週間で、500年に1度と言われるハリケーン Harvey の直撃を受けました。市内は大洪水となり、駐在員・現地社員とその家族の安否確認やサポートに追われ、事務所は1週間ほど機能停止となり、いきなり事業継続にも係わる危機に直面しました。

また、記憶に新しいところではコロナ禍もありました。母国から遠く離れた地で体験する未知のパンデミックは、駐在員と家族にとっても、日本でのそれ以上に不安だっ

たと思います。幸い両災害時とも大きな被害は出ず、胸を撫で下ろしています。現地トップとして「社員の生命と生活を守る」という最も基本的な使命を認識する貴重な機会となりました。コロナ禍を乗り越えようと、石油産業を取り巻く環境は大きく変わっていました。脱炭素の波は、世界のエネルギー産業の中心・ヒューストンにも押し寄せています。元来、シェールオイルと大水深油田の事業拡大を任務として着任しましたが、現在は既存事業の脱炭素

化と低炭素事業への進出など事業戦略・計画の転換に大きく舵を切ろうとしています。50歳を過ぎて新しいことに挑戦することは大変だと感じますが、同時に幸せでもあります。未来のためにも良い仕事をしたいと思っています。



イーグルフォードシェールの掘削現場(右から2番目が筆者)

● これから、そして若い人へ

海外生活は通算13年を超えました。札幌にも15年以上足が遠のいています。ただ、何処で何をやっていても感じる

のは、札幌・北大で過ごした6年間で、今でも自分の大切なバックボーンになっているな、ということですね。今まさに、本社から経営を任されている現地法人の事業を転換しようと、駐在員・



ホワイトハウスを望む(ワシントンDC)

最後に、海外駐在生活は大変なことも多いですが、家族で過ごす時間が増えたり、帰国後も家族ぐるみの友人ができた、人生を豊かにしてくれました。今後、海外駐在生活ができる限り楽しもうと、妻と話しています。

4年間毎日のように見てきた新サークル会館やイチョウ並木の風景は、今でも私に大きなエネルギーを与えてくれます。皆さんも、学生生活を思い残すことなく、エンジョイして下さい。きっと皆さんの糧となることでしょう。

現地社員合わせて50名超が一丸となって挑戦していますが、正解の見えない未来に対する決断をしないといけません。そんな時、Big Greenの4年・主将時に得た自信、あるいは、繰り返したくない後悔等を思い起こし、自身の哲学として決断することも多いです。また、年齢50を過ぎて自身のキャリアに思い悩むことも多くなってきましたが、技術者として社会に出ると決めた初心を思い起こすことで考えが整理されることもあります。

● シェール革命の米国へ再び

3度目の海外駐在は、48歳となった2017年8月からの米国テキサス州ヒューストンへの赴任で、5年たった今も現在進行形です。今回は、現地法人の社長として、米

モンゴルと日本の「今」をつつなげたい

●日本センターでの仕事

2022年現在、私はモンゴルに移住して7年になります。2015年から在モンゴル日本大使館の専門調査員として勤務し、ついで2017年から現在までJICA専門家としてモンゴル日本人材開発センター（以下、「日本センター」）に勤務しています。



日本センターの「伝統衣装で出勤する日」に職員と一緒に

日本センターは2002年に日本の政府開発援助により設立された組織で、モンゴルの産業人材の育成、日本語教育の普及、そして日本とモンゴルの相互理解促進に係る事業を行っています。モンゴルでは日本への関心が高く、日本センターは日本の情報発信拠点として当地で人気を集めてきました。開所以来のセンター来場者はのべ250万人を超え、モンゴルの総人口が約330万人であることを考えるとこれは大変な数字です。

そうした日本センターでの私の主な仕事の一つはモンゴルと日本の交流促進です。日本に関心のあるモンゴルの若者たちに日本への留学案内や就労支援を行っています。モンゴルでは日本に対する関心が高くその情報もよく知られている一方で、日本ではモンゴルのことはあまり知られておりません。いまでも日本の多くの人にとってモンゴルといえばチングリス・ハントと遊牧、そして相撲のイメージ

JICA専門家
モンゴル日本人材開発センター

滝口 良 (H25・文院)

に留まっています。そこで、日本センターでは日本人に向けてモンゴルの文化や現代社会をテーマに講義を行ったり、SNSを通じてモンゴルの最新情報を発信しています（Twitter:「モンゴル日本センター公式（ビジネス交流・人材キャリア支援）」、アカウント名@Mojkha）。

●北大での学び

私がモンゴルでこうした仕事に就くきっかけとなったのは、北海道大学大学院文学研究科でモンゴルについて研究したことでした。博士課程のときにはモンゴル国立大学に留学もしました。当時から私はモンゴルの人びとの生き方や考え方に自分のものとは異なる大切なものがあると感じていて、そのことをより深く理解するために「異文化理解」を主要テーマとす



大学院のとき、古河講堂でモンゴル文化の講演。家族と共に

る文化人類学を専攻したのでした。北大で過ごした時間を思い出すと、真っ先に思い浮かぶのは私の所属した歴史文化論講座の学び舎だった古河記念講堂です。当時、歴史文化論講座の多くの授業は古河講堂で行われていました。大学の正門を入って中央ローンを横目に道なりに進んでいくと程なく現れる2階建ての白壁の洋風建築。歩くときギンギンと鳴る木造の廊下や、高い天井と古い建物の特有の香りが醸し出す雰囲気は今でもありありと思ひ浮かべることが出来ます。

私はもともと関西出身で、北大はもとより北海道そのものにもまったくゆかりがありませんでした。けれども文化人類学を学びたい、モンゴルをもっと知りたいという思いで歴史文化論講座の扉を叩きました。先生方から学んだ知識、

友人たちと時間を忘れて交わした議論、そして北大の豊かなキャンパスで過ごした年月は、今でも忘れられない貴重な思い出です。こうした北海道大学での過ごした時間が、モンゴルにおいて国際協力の現場で勤務する現在も私の大きな支えとなっています。

●研究と実務、二足のわらじ

その支えとはまず、北大で身につけた文化人類学的な知識と異文化理解に関わる姿勢です。私がモンゴルで国際協力の分野において働くことができているのは、私がモンゴル語を話せるからでもなければ、モンゴルと長く関わってきたからでもありません。モンゴルの文化や社会について知ろうと努め、一見非合理で理屈に合わない物事に出会ってもその背後にある私たちにも納得しうる事情から捉えようとする、北大で学んだそうした姿勢が私を支えているのです。

私は現在でも、JICA専門家として勤務するかわら、北大で取り組んでいた研究を継続しています。もちろん大学に籍を置いていた時に比べれば研究の歩みは遅々としたものですが、幸いにも北大で得られた縁で共同研究のお誘いをいただくこともありま



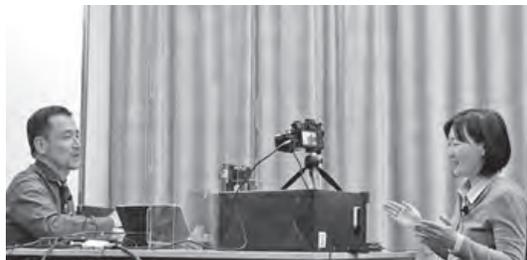
日本センターでモンゴル文化の講演を行う

足移してからも、研究に携わることが出来る現状をたいへん幸運に思っています。JICAからもモンゴル文化に関する専門性を認めていただき、新たにモンゴルに赴するプロジェクト関係者や青年海外協力派遣隊に向けてモンゴル文化に関する研修を行ったり、モンゴルに関連する他プロジェクトからの相談を受けたりしています。

●日本センターと大学との連携

次に北大での経験が現在の仕事に活かされている点として、日本の大学との交流があります。日本センターでは、北海道大学で得た大学関係者との人脈を通じて、日本の大学と日本センターとの交流に積極的に取り組んでいます。日本センターでは毎年秋に「日本留学フェア」というイベントを実施しており、日本から10を超える大

学がモンゴルへと大学紹介にやってきました（北海道大学も過去に同フェアに参加していただいております）。モンゴルでの留学フェアには2日間のイベントに最大2000人も来場者が訪れ、来場者の日本留学に対する熱意を目にした参加大



コロナ禍の状況下、日本の大学とオンラインで繋いで授業

学からは驚きの声をよくいただきました。

総人口は少なくとも、日本留学への高い志を持つ優秀な若者がいるモンゴルという国を大学関係者の皆さんに知ってもらうことが大切だと思っています。

また、研究者としての自身の知識と経験を活かして、たくさんの人にモンゴルについてより深く深く知ってもらうことは、私にとつて最もやりがいのある仕事です。そのためとくに日本の大学生を対象としたモンゴルとの交流事業を積極的に進めています。九州大学、山形大学、東北公益文科大学、中央大学などの大学と提携し、大

学が短期インターンとして日本センターを訪れて就業体験する事業を準備しました。コロナ禍にあっ

●最後に

北海道とモンゴルについて、北大の学生と修了生の皆さんにひとこと。実のところ北海道はモンゴルと気候が比較的似ていて、モンゴル人にとつては過ごしやすい地域です。それに羊肉と縁の深いモンゴル人にとつて北海道は羊肉を比較的容易に手に入れることができると便利な土地です。そのせいもあってか、北海道大学を中心に少なくないモンゴル人留学生が北海道に生活していて、北海道に暮らすモンゴル人の協会もあるほどです。少し見回してみれば、あなたの周りにもモンゴルとの関わりある事柄が見あたるかもしれませんよ。

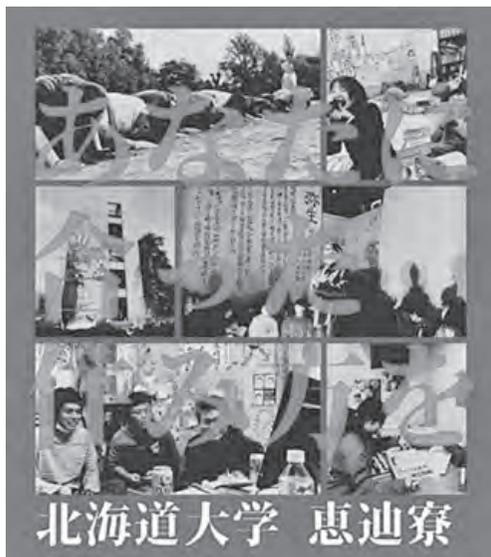
では両国間の渡航ができない状況に陥りましたが、日本の大学とオンラインでつないでモンゴルから講義を実施しました。日本の大学生の皆さんは海外渡航はおろか大学に登校さえ自由にできない状況でしたが、この授業によって少しでも「外の世界」を感じてもらうことができているのではないかと感じています。

持続可能な労働力の活用を 東南アジアの教育・雇用・幸福を目指して

コロナ禍やウクライナ侵攻など、近年心が晴れないことに傾聴しながら、一方で戦乱混沌とした今の時代を客観視している自分たちが居ると感じている。人材派遣業界（製造特化）に長く身を置き、頭の中はいつも「唯一無二」、人材活用のビジネスである。仕事柄、人とのコミュニケーションが基本であるが、思い起こせば、北大や恵迪寮でのさまざまな個性的な（奇抜な？）人たちの出会いや一緒に過ごした経験が、その出発点だったかもしれない。

◆北大の思い出

北海道スポーツの1面を飾り（赤フン合格発表）、43年前、木造の恵迪寮に入寮した。4日間19時24時は「部屋訪問」である。新人が各部屋に行き、大声で自己紹介をする挨拶回りは、口上から始まり、あらゆる容器を使って焼酎1杯を飲み干す荒行が行われた。（シャンプー容器は丁寧に洗って味も染み出るので、物議を醸し



北海道大学 恵迪寮

当時の恵迪寮のパンフレット

「高校生の金属バットによる両親撲殺」という世相を模倣してきて警察と仲良くなる学生もいたが、不思議と凍死する奴はいなかった。治安も良く、学生には大目に見てくれる街だったということだろう。

「後輩にフルヘルメットと金属バットを持たせ、厚生年金ホルの入学式に出させた先輩もいた。大学院卒業謝恩会では「ビールかけ」（プロ野球優勝祝賀会風）をやり、教授の目を丸くさせた。紹介が遅れたが全て私の自叙伝である！」



エルコム株式会社
愛知リクルートセンター
センター長
高津知弘 (S62・理院)

◆終活 （仕事人としての最終章）

北大を卒業してからリクルート↓人材派遣業界と歩んだ。リクルートでは人事部（リクルートテイニング担当）を経て名古屋支社HR事業部に在籍し、「東海より1ターンBinding」という求人情報雑誌を立ち上げるキッカケを作った（自称）。人材派遣会社に転職して「社員出向型派遣」という人材サービスを一定のマーケット開拓を成し遂げたが、事業を継続できず、残念ながら時代に吞み込まれた思いがある（不完全燃焼）。

その後、ベトナム人エンジニアの派遣会社とアライアンスを組んで、関西地区でのリサーチを経て、昨年からは東海地区の責任者として取り組んでいる。事業のメイ



彼ら手作りの「ベトナム料理」を食べながら研修

ンは、アジアからの働き手を社員として雇用し、さまざまな企業に人材を派遣するサービスである。

現在進行形の仕事は、千葉県在住のスリランカ人留学生との出会いから始まった。彼らがどのような思いで日本にやってきて、遠く離れた地で日本語を学び、専門学校で技術を学んでいるのかを知り、そして、わたし自身が千葉入管での手続きを行ってみて、いかに入国管理審査という難解な壁が彼らの前にそびえているのかを体験した。

就労を求めて日本にやってくるアジアの人々のほとんどは、日本語学校がその入口である。その日本語教育の企業と協業しながら、今後ますます必要とされるであろう働き手としての彼らの活路を見出すことに、これからの精力を傾けたいと思っている。

◆大局的なこじつけ （自分の考えの正当化）

取り組んでいる仕事を「SDGs」の17項目に関連して考えた時、「4 質の高い教育をみんなに」「8 働きがいも経済成長も」「11 住み続けられるまちづくりを」「12 つくる責任つかう責任」の項目は、今の仕事のベクトルと合致している。しかし、「ベトナム技能実習生が身につけている技術についての、ルール上の建前と実態の差」「日本での幸福を得るための、資格取得に高い壁があること」「人文知識・国際業務・技術ビザの基準の曖昧さ」などの現実的な問題をどう乗り越えていけるのか？とも感じている。

幼い頃から「安定した生活や幸福を感じる日本」に希望や夢を抱いていた28歳のスリランカ人男性は語ってくれた。

親戚から資金を集めて23歳で来日し、日本語学校に留学した学費は2年で150万円、その後理系専門学校の学費は3年で225万円。12月に就職も決まり、就職先からビザを申請したが、翌年2月の審査結果は技術ビザが認可されなかった。卒業予定の専門学校には助けてもらえず、入管の非認可の説明も不明瞭。週28時間以内に制限された「すき



協調性のハートが大事

家」のアルバイトで5年間必死に頑張ってきたのに、目指してきたゴールができず、途方に暮れているという。

「学費を取る事に特化する学校」「ビザ申請において認可取得できない企業」「基準が不明確で愚鈍な入管」。それぞれに言い分はあり、課題を抱えているので極端な表現は不適切とは思いますが、申請者のことを思うと憤りを禁じ得ない。

勤務する会社は、川下（ゴール）から組み立てるべく、適切な申請サポートで働き手を漸増し、このコロナ禍2年で、ベトナム人エンジニア25名とスリランカエンジニア3名を加えることができて、売上3倍・営業利益11倍となった。

これは、進めているサービスが人手不足にあえぐ製造業界に貢献できることを示す結果であり、エンジニア派遣会社の大儀名分だと思ふ。

◆この5年で取り組む事業

エンジニアの資格を取得するために来日した外国人として、ベトナムとスリランカの人たちに注目している。

○ベトナム人・母国でエンジニアリング教育を習得していることが多い。また、唯一アメリカに戦争で負けなかった国であり、意思が強くプライドを持っている。

○スリランカ人・幼い頃から日本に対する思いが強く、勇往邁進な気質。国柄としては、近隣国からの揺さぶりと大統領の愚策に喘ぎ、産業立国が厳しい。

アジア人労働者と日本人を比較したとき、ものづくり現場で働いている一般の日本人従業員とは格段の差が出現している事は、10年間痛切に実感している。しかし一方で、アジアからのエンジニア希望



乗ってくると「いいね!」ポーズも出る

者を見ていると、ウクライナの国を守る兵士に通じるモノがあると感じている。

派遣先企業の見学时に「具体的に積極的な質問を繰り返す」のはベトナム人である。技術や経験は不足するが日本語に優れたスリランカ人は、初日午後には1人で作業することができ、半年後には外国人の教育係になるほどである。

多くの企業において、現場オペレーションは「派遣法で成立する」外国人エンジニアが品質向上に貢献して設備メンテナンスまでこなし、日本人正社員は、生産管理や取引先交渉の役割に回らざるを得ない状況となる。

技能実習生・特定技能者では、母国からの送り出し機関・日本の受け入れ機関という存在が「本」と企業間に介在」しており大変不透明である。また、企業直接雇用でありながら

外部団体に「管理」を委ね、「労働法」「派遣法」規制から逃れた存在なので「一時の労働力」という領域から抜け出すのは難しい。(入管許可にのみ左右された鳥合の衆と化している)

目下、出生率低下によるマンパワー不足に直面

する業界と、アジアから就労先を求めて来日する労働力の実情に即した「法の基準」を指して、入管へのアプローチを精力的に行動している。

主にアジアからの方々が就労するまでの流れは次のようになる。

①塾や予備校での「日本語学校」2年↓

②エンジニアビザ取得のための「専門学校」3年↓③就労先を確保する「派遣会社」や直雇用での就職(就職という出口を絶対的存在とする!)

この流れがスムーズに回るように、就労先となる「コラボ先」(企業/個人)を探し、全国の入管の実態を調査している(月間申請数と審査官力量など)。企業や個人の検索にはフェイスブックやインスタグラムを含めたソーシャルネットワークを活用し、距離と時間を短縮している。また、LCC航空会社は移動コストを大いにセーブしてくれる。(名古屋⇄札幌 往復航空運賃1万4千円、1万8千円は学生時代の約1/3)。

出国管理団体・入国管理団体への地道なTELアラボも並行して行い、この2年間の行動で手応えは先ず先ずである。



仕事の仕方はピュアでホワイト

ベトナムやスリランカの若者を社員として雇用することは、現実的には大変なことも多い。習慣や生活が異なることや日々の勤務でのストレスを抱え、病気になることもある。万が一に備えて彼らのアパートの駐車場に車を泊らしたり、夜中に救急車を呼んで病院に搬送こともあった。

日頃からコミュニケーションをとり、信頼関係を築くことは日本人社会と同じであるし、それ以上の心配りやケアが必要だと思ふ。

しかし、これまでの経験を活かし、身の丈に合った成長と幸福を目指すこの仕事は、きつとサステナブルな社会に貢献できると確信する。そして、戦乱混沌とした今の時代で、差別化された「唯一無二の派遣会社」アジア人の一貫通貫システム」に繋がるものと信じている。

アルミのことなら日軽金

創薬事業の経験を活かし スタートアップを支援

「Craigif(株) 西山結美さんに訊く」



Craif株式会社
臨床開発・薬事部長
西山結美さん
(H16・薬院)

【聞き手】

北海道大学
産学・地域協働推進機構
産学協働マネージャー

千脇美香

現在携わっているスタートアップ支援についての話を聞いた。「幼少期から体が弱くて、喘息に悩まされてきました。そのせいもあって大学では薬の勉強をしたかったと思っていました。それ以外にも、動物が好きという理由で獣医にも興味がありましたので、地元の名古屋大学には薬学部がないこと、入学後に本当に学びたい学部に進むことができる制度に魅力を感じて北大を受験しました」と西山さん。北大獣医学部をモデルに描かれた漫画本の『動物のお医者さん』をきっかけに、北大への関心を強めていったそう。

2022年2月24日北海道大学の北キャンパスでは、『HSFC D emoday 2022』(エイチ フォースデモデイ2022)と題したイベントが開催された。このイベントは、研究者自らが会社を興し、研究成果を社会実装するために、約1年間研究開発活動を行ってきた成果発表会だ。参加した研究者は、外部アドバイザーと一緒に活動し、研究開発と事業化に向けた調査活動を行ってきた。その外部アドバイザーのひとりが2004年に北大薬学部を卒業した西山結美さんだ。西山さんの学生時代の学びや、その後の製薬企業での経験、そして

「北大入学は2000年4月です。実は双子の妹も北大農学部に入学したので、札幌では妹と2人暮らしでした。授業の選択も違っていましたし、部活も入っていないので、学内で妹に会うことはほとんどなかったですね。でもたまに友人から私に似ている人を見たといわ

れましたよ。妹とは中学までずっと一緒に通っていたので、高校は別々にしたのですが、北大でまた出会うてしまいましたね(笑)」
現在北大では、学部別入試に加え、総合入試制度を導入している。総合入試とは、学部ごとの入学ではなく文系・理系のおおきな括りで入学し、1年間、教養科目や基礎科目を学んだ後、本人の志望と成績に基づいて学部・学科に移行する制度となっている。従来の学部別入試では、入学後に自身の希望との違いに悩む学生が少なくなかったのだ、そのミスマッチの解消に導入されたのが、この総合入試の制度だ。



学生時代のイベントサークルの仲間

「北大に入学して驚いたことは、ジンパです。当時中央ローンで七輪を囲んで白衣の集団が何か焼いているんです。医学は無理だと感じました。薬学部では有機化学の研究室を選びました。研究テーマはシアリルルイスXという糖鎖抗原の複数回に及ぶ合成経路の再現性確認でした。糖鎖を使った実験は、水素や側鎖が思い描いた立体構造をしているのかをNMR装置を使って

解析しました。NMR装置とは、原子核を磁場の中に入れて核スピンの共鳴現象を観測することで、物質の分子構造を原子レベルで解析するための装置です。実験では複数の水素のシグナルが観測されてしまい、仙人のような博士課程の先輩に心眼で読み方を教えてもらいました。当時はアルバイトを3つくらい掛け持ちしていましたが、ゼミの指導教官が厳しい先生だったので、講義も真面目に受けていました」

◎ 創薬企業から バイオベンチャーでの経験

博士課程への進学はせず、製薬企業に就職した西山さんは、創薬の開発プロジェクトを続ける中、MBAの取得やバイオベンチャーとの関わりを深めていくことになる。「製薬会社での勤務は、臨床開発のプロジェクトに携わっていました。



海外スタートアップと
日本企業のパートナーシップ支援も

300くらいある創業シーズの中から、市場規模がありそうなものを絞り込みます。そして開発プランを立てて、本社の人間にプレゼンをして予算を確保します。予算が確保できなければ、1年間仕事がありません。予算が取れたら社内からいい人材を確保してチームを作ります。その過程での予算管理や投資に対しての収益率など、正確な数値を出す必要があります。外資系の企業なので、週に2、3回は英語で本社の人間とやり取りをしなければならず、語学は実務の中で身につけました。でも、プロジェクトマネジメントに関しては学ぶ必要があり、早稲田大学のMBAコースに通い学びました。このMBAコースではベンチャーのファイナンスや企業価値の上げ方などを学ぶことができ、今のスタートアップ支援やバイオベンチャーの事業開発の仕事に活かしています。実際、ジョイントベンチャーに関わることもあり、



製薬会社では多くのメンバーと
業事承認を達成

ベンチャー企業ではイベントの審査員も経験



ベンチャー企業ではイベントの審査員も経験

「社会人になったばかりのころは、年に1回は同期と交流会をしていました。そのうちそれぞれが家庭を持つと、だんだんと疎遠になってしまいました。私がスタートアップに携わるようになると、北大出身のスタートアップで活躍されている方々のネットワークに誘ってもらい、年齢も職種も全く異なった方との交流が増えてきました。その関わりの中で、自分自身の起業について考えたこともあります。でも、サポートする方が私にはあつていないのかもしれないです。特に今はもう少し資金調達のお手伝いなどができればと考えています。それと今、新たな学びとして、人の行動変容とメンタルヘルズに興味があり、プライマリ・

投資家とのマッチングや企業との契約交渉などを経験しました。」
◆◆◆
「新たな学びと新たな出会い」

ケアについて学んでいます。予防的な観点からだと、重症化させない行動やその行動を起こさせるメンタルのサポートで、医療費の削減に繋がりたいと考えています。その他にはグリーフケアについて専門的に学んでみたいと思っています。きっかけは父の死に直面した母の姿です。年間140万人が亡くなる中で、それでも前を向いて生きていける世界を作りたいと思います。仲間を募集中です。最後に、これからも自分の学びを深めながら、今後もスタートアップに携わり、その一員として貢献していきたいと思っています」



田部井淳 (たべいあつし)さん
栃木県足利市出身、H13工・情報処理・修

この店のスープカレーは薬膳入りが特徴。通信講座や薬膳レストランで学び、シャナイア風にアレンジしたもの。スープカレーは、チキン・エビ・野菜を組み合わせたメニューでどれも絶品。具の量も食べ応え十分。恵比寿駅が最寄りだが、ガーデンプレイスを抜けた住宅地の一角にたたずむお店なので、道に迷う可能性は大きい。来店時はサイトで地図を確認するなど、予め準備して出かける目印。お店は猫が

札幌発祥ながらすっかり市民権を得たスープカレーだが、TV等で紹介されカレー好きにもちよつと知られたお店・シャナイア。大手IT企業に就職したものの、こどもの頃からの料理好きが捨てがたく、思い切って転身。料理学校やフランス料理店で修行の

後に、クルマでの移動販売を経て、現在のお店に至っている。

【ホームページ】
<http://www.nekoaji.net/shania/>



薬膳スープカレーの店
シャナイア

薬膳スープカレー・シャナイア
TEL.03-3442-3962
東京都目黒区三田1-5-5
【アクセス】
JR線・日比谷線「恵比寿駅」東口より徒歩約10分
【営業時間】
ランチ11:30~15:00(L.O.14:15)
ディナー17:00~21:00(L.O.20:00)
日曜日・月曜日定休
※テイクアウトについてはホームページを参照。



高木宏昭 (たかぎひろあき)さん 愛媛県出身、H29教育

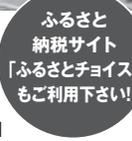
現在土・日のみ工房直売所で販売し、平日は地元産直市場やネットショップで展開。「ふるさと納税」は半年で300件超とか。静岡に行かれた際はちよつと足を延ばして高木さんのお店を訪れてみては!

口に入れた瞬間にミルク感溢れるジュシーさが特徴のモッツァレラチーズ。愛媛から国語教師になるべく北大に入学するも、道内の乳製品の美味しさに感動。学生時代よりオリジナルアイスを開発し、大学生協や構内「エルムの森」で販売するなど、「大志」の原点

は北の大地にあったようだ。卒業後は道内のチーズ工房での修業を経て、2021年1月に富士山の麓、静岡県でチーズ製造・販売を行う「七富チーズ工房」を創業。工房のある富士宮市は標高が高く、関東でもトップクラスの良質な牛乳が生産される酪農が盛んな高原地帯。塩も調整剤も使用しない一番人気のもつアレアは、地場産品コンテストでも優勝する程のお墨付き。



本場北海道仕込み
七富チーズ工房
TEL.070-8534-4772
静岡県富士宮市下条487-1
【アクセス】
新東名「新富士IC」からクルマで30分
【営業時間】
土曜・日曜10:00~17:00



【ホームページ】<https://nanatomicheese.shopinfo.jp/>



工藤卓 (くどうたかし)さん 余市生まれ、札幌西高卒、北大水産
ダイエットして若返りました!(笑)

飲食業40年で培ったネットワークで北海道産品を直送で仕入れられるのがお店の強み。蒲田駅西口のサンロードアーケードを歩いていくと2分ほどの所にある。本物の魚介の味を是非ともご賞味あれ!

自分が食べたい料理がある・自分が行きたい店をコンセプトに6年前に開いたお店「余市」。北海道産の新鮮な魚介類を食べたい時に訪れたいお店だ。店名に引かれて来店される方も多いそうで、北海道に所縁があったり、北大出身だったりすること

店主の工藤さんは札幌西高出身で、水産学部に入学。パブル期前の経済が上り調子の頃、学生の身ながら、講義そっちのけで居酒屋の店長を任せ、ついには大手フランチャイズの店舗開発で、全国を飛び回っていた異色の経歴。

【ヒトサラ】公式情報 <https://hitsara.com/0006130407/>



北海道産魚介類の店
海鮮食堂 余市
TEL.03-3734-0411
東京都大田区西蒲田7-65-9 第3青木ビル1F
【アクセス】
JR線・東急多摩川線「蒲田駅」西口より徒歩2分
【営業時間】
平日16:00~24:00(L.O.23:00)
土曜日12:00~24:00(L.O.23:00)
日・祝日12:00~23:00(L.O.22:00)
水曜日定休



高木直人 (たかぎなおと)さん
千歳市出身、札幌南高卒、H4工・合化・修

木さんに相談すれば、お好みのテイストのビールを教えてください。ベルギービール初心者でも十分に楽しめる。JR田町駅や都営三田線田町駅から徒歩5分の所。お気軽にどうぞ。

以前ドイツ系企業で働いていた頃、ヨーロッパに出張した時によくベルギービールを飲む機会があり、そのビール好きが高じて自分のお店を持つようになったとか。興味レベルの段階でスクールに通い、ビアテイスターやベルギー

店内は木をベースに落ち着いた空間で、ゆっくり寛げる雰囲気。現在は、ベルギービールの樽生6種類、ボトルは100種類以上を用意している。マスターの高木さんに相談すれば、お好みのテイストのビールを教えてください。ベルギービール初心者でも十分に楽しめる。JR田町駅や都営三田線田町駅から徒歩5分の所。お気軽にどうぞ。

【公式Facebook】<https://www.facebook.com/comme.la.gueuze>

ベルギービール専門店
コム・ラ・グーズ
Comme la Gueuze



常備100種類以上のベルギービール専門店
Comme la Gueuze(コム・ラ・グーズ)
TEL03-6435-2463
東京都港区芝5-24-16 菊池ビル2F
【アクセス】
JR線「田町駅」より徒歩5分
【営業時間】
17:00~24:00
(日・祝、第1月曜日休み)



北海道大学東京同窓会 入会申込書

ホームページからの申し込みも可能です。「北大東京同窓会」で検索してください。

[FAX]03-3211-9288

フリガナ 氏名	
学 士	学部	学科
	卒業年 (昭和・平成・令和)	年卒業
修 士	(研究科・院)	専攻
	卒業年 (昭和・平成・令和)	年卒業
博 士	(研究科・院)	専攻
	卒業年 (昭和・平成・令和)	年卒業
自宅住所	〒()	
	電話:	FAX:
	(携帯・スマホ)	
	E-mail:	(PC)
勤務先 所属・役職 勤務先住所	
	〒()	
	電話:	FAX:
	E-mail:	
<p>【優先連絡先E-mailアドレスの指定】 ・ご自宅、勤務先にE-mailアドレスをお持ちの場合、<u>優先連絡先の方に○印をつけてください。</u></p> <p>【優先 発送物宛先の指定】 自宅・勤務先いずれか<u>優先する方に○印をつけてください。</u></p> <p>【会費納入方法】 ・入会申込受領後、会費案内をお届けしますので郵便振替または銀行振込にてお支払いください。</p>		

コロナに負けるな、仲間のお店にGO!

→ 仲間のお店応援!



馬屋原亨史 (うまやはらりょうじ)さん 大阪市出身、H15工

近所のビル2階。広々としたフロアで、奥の掘りごたつ風の特別席は寮の風情が感じられる。新築のビルに2階。広々としたフロアで、奥の掘りごたつ風の特別席は寮の風情が感じられる。新築のビルに2階。広々としたフロアで、奥の掘りごたつ風の特別席は寮の風情が感じられる。

「北大カレー部」というワードを聞いたことがありますか?店主が恵迪寮時代に立ち上げたグループで、ググると当時作ったウェブページが今でも見ることが出来る。在学中からのスパイスへのこだわりには驚かされる。6年かけてシステム工学を学ん

だもの、カレーの世界が忘れられず、3年の計測器メーカー勤務を経て、2007年に「草枕」を開業。旅行が好きで、その枕詞を店名にしたとか。一皿あたり丸々一個程のすりおろした玉ねぎをたっぷり時間をかけて煮込み、多種多様なスパイスを加えて香り豊かに仕上げている。小麦粉を使わず油は少な目で、スパイスの風味を存分に楽しめる。固めで粒も大きいご飯は、減農薬で栽培された北海道産米「大地の星」を使っている。新宿御苑の新宿門付近のビル2階。広々としたフロアで、奥の掘りごたつ風の特別席は寮の風情が感じられる。



curry 草枕 (カレー クサマクラ)
 TEL.03-5379-0790
 東京都新宿区新宿2-4-9 中江ビル 2F
【アクセス】
 地下鉄「新宿御苑前駅」から304m
 地下鉄「新宿三丁目駅」A1出口より徒歩3分
 C5出口より徒歩1分
【営業時間】
 11:00~15:00(L.O.14:30)
 18:00~21:00(L.O.20:30)

【ホームページ】<https://currykusa.com/>



山田 尚大 (やまだなおひろ)さん 北海道北広島市出身、H23・工院

みる。また、ミルクデザイン(株)は地域貢献や酪農の課題解決への取り組みが評価され、「北大発スタートアップ企業」に認定されている。みる。また、ミルクデザイン(株)は地域貢献や酪農の課題解決への取り組みが評価され、「北大発スタートアップ企業」に認定されている。

グラスフェッド (grass fed) ミルクをご存知ですか?牧草で育てられた牛のミルクのことで、穀物飼料(トウモロコシ等)で育てた一般の牛乳とは異なる、爽やかな味わいが一番の特徴。植物由来のαリノレン酸(オメガ3)やビタ

そんな「美味しく健康的なミルク」に魅力を感じ、10年勤めた野村総研を辞め、家族と北海道西興部村に移住。ミルクデザイン(株)を立ち上げた山田さん。グラスフェッドミルクとの出会いが人生を変えた。ぜひ飲んで味わってみてください!と自信満々。製造しているミルク、バター、チーズは百貨店や北海道どさんこプラザで販売し、産地直送の定期便もスタートしている。



ミルクデザイン株式会社
 TEL.0158-85-7302
 北海道紋別郡西興部村 字上興部121番地

【グラスフェッド定期便】
 グラスフェッドミルク100%で作られた製品を直送しています。



【ホームページ】<https://www.milkdesign.jp/>

★営業時間が通常と異なっています。来店の際は事前にお問い合わせください。

2022年(令和4年)

残暑お見舞い

申し上げます。

北大東京同窓会

役員一同・事務局

会長 横田 浩 (経・60)
事務局 廣重 晃以 (法・55)

納谷 峻徳

(工・38・冶金)

JFEホールディングス株式会社

名譽顧問
數土 文夫

(工・39・冶金)

石山 喬

(工・42・冶金)

岡 隆次郎

(工・42・冶金)

北海道大学校友会エルム

会長
杉江 和男

(工・45・応化修)

ライフライン・
コミュニケーションズ株式会社

特別顧問
小野 喜世彦

(工・49・電子)

井上 修平

(工・50・資源開発)

松谷 寛

(工・52・電子)

有限会社ケースオフィス

代表取締役
川添 公貴

(工・56・応化)

北海道大学工学部
化学系東京同窓会(北鐘)

会長
近藤 伸一

(工・58・応化修)

北大スキー部OB会 東京支部長
北大東京同窓会理事
情報処理委員会委員長
中村 秀治

(工・58・環科・60・修)

味の素株式会社
特別顧問
福士 博司

(工・59・応化修)

株式会社IHI
資源・エネルギー・環境事業領域

技監
岩崎 哲也

(工・59・機)

ワイエム・エス株式会社

代表取締役
島田 久

(工・61・金属)

尾瀬沼畔長蔵小屋
尾瀬ヶ原第一長蔵小屋

代表取締役
平野 太郎

(工・H3・衛生)

十条ケミカル株式会社

代表取締役社長
小山 裕

(工・H4・金属)

北大スキー部OB会幹事
北大東京同窓会理事
情報処理委員会委員

依田 智子

(工・H4・応化修)

ミルクデザイン株式会社

代表取締役
山田 尚大

(工・H23・応物修)

新日本相撲甚句会

理事
師範代
野呂 忠一

北海道三笠市ふるさと応援大使 (薬・39)

北海道大学歯学部同窓会
関東支部

支部長
横田 秀一

(歯・60)

北水同窓会
東京支部一同

支部長 樋口 達夫 (水・50・食品・修)
副支部長 細見 典男 (水・48・食品)
副支部長 吉田 克典 (水・H2・食品)



加藤 元

(獣・31)

一般財団法人dakari 代表理事
ダクダリ動物病院 総合院長
コロン州立獣医科大学客員教授 日本親善大使(2012)(3)
千葉科学大学客員教授
ダクダリ動物病院 東京医療センター
東京都役所 動物管理課 代々木

森 和弘

(歯・H1)

東京フラテ会

会長 畠山 昌則 (医・50)

社会医療法人
財団大和会
武蔵村山病院

院長 鹿取 正道 (医・H3)

東日本恵迪寮同窓会

役員一同

会長 坂倉 雅夫 (S44入寮、農・48・農工)

【2022年(一社)恵迪寮同窓会東日本大会】のご案内

【日時】令和4年10月1日(土)

1.開識社(講演会:無料) 12:00~13:00

講師:上原 健 氏 (S53入寮・理・高分子卒)

演題:(仮題)野鳥の話

2.総会及び大寮歌祭(会費:5,000円) 13:15~15:00

【会場】『旅館 鳳明館本館』(東京都文京区本郷5-10-5)

一般社団法人 札幌農学同窓会

東京支部 役員一同

理事長 櫻田 巧 (農・58・農経)

副理事長 別所 智博 (農・56・農化)

副理事長 高木 忍 (農・58・農化)

北大経済学部

東京同窓会 役員一同

会長 永松 昌一 (経・57)

事務局長 菅埜 誠 (経・52)

北大法学部

東京同窓会 役員一同

会長 小口 正範 (法・53)

事務局長 大野 峻 (法・H18)

松沢 幸一

(農・48・農化・修)

富田 守

(農・36・畜産)

野口 晋一

(文・H8)

横田 浩

(経・60)

石川 裕一

(法・54)

本間 修

(法・45)

石堂 正信

(法・44)

鷺野 弘明

(獣・51)

櫻田 巧

(農・58・農経)

小坂 達朗

(農・51・農化)

梶谷 辰哉

(農・50・林学)

坂倉 雅夫

(農・48・農工)

小名木 明宏

菅野 聡

(法・62)

堀江 亮介

(法・61)

町村 均

(法・60)

名刺広告は1コマ、
5千円で、皆様にご協力をいただいています。

瀬戸山 洋介

(農・H12・農工)

三井 晃一

(農・H1・農学)

高橋 寛

(農・62・農工)

佐々木 亮子

(法・47)

祝・マザーズ上場

証券コード4069

(株)BlueMeme

常勤監査役 杉山 和彦 (法・45)

北海道大学の近況

(2021年冬～2022年春)

北海道大学総務企画部広報課

第35回ビジネスEXPO2021-22開催

11月11日(木)・12日(金)、アークセサップポロ(札幌市白石区)にて「ビジネスEXPO2021-22」が開催され、本学も出展しました。ビジネスEXPOは出展企業や機関が、新製品のアイデア、新たな販路の開拓とその拡大、そして事業発展のきっかけになるような新技術・新商品等を積極的にアピールすることで、新技術・新商品等を「発見」できる魅力的な場所の提供を目的としています。

今年は、「持続可能な未来創造に向けて」新たな北海道ステイジの扉を開くことをテーマとして開催されました。

新型コロナウイルス感染症への対策を行ったうえで道内外277社が出展し、アフターコロナを見据え北海道の未来に向けた新たな価値・サービスを発信する「SDGs・未来創造ゾーン」が新たに



左から、吉野客員教授、真弓明彦ノーステック財団理事長、鈴木直道北海道知事、實金総長、寺内産学・地域協働推進機構副機構長。北大ブースにて。

設けられ、本学はそちらに出展しました。



北海道プライムバイオコミュニティのネットワーク機関「北海道3連絡会(Hokkaido Cubix)」左から、真弓明彦ノーステック財団理事長、鈴木直道北海道知事、實金総長。ノーステック財団特設ブースにて。

テック財団理事長・真弓明彦氏が本学ブースを訪れ、實金清博総長及びCOI-NEXTのプロジェクトであるトリイダーである吉野正則客員教授から、本学の取り組みについて説明を行いました。

多くの参加者が本学ブースを訪れ、展示内容の照会や本学と協業する場合は形態など、具体的なご相談を多数いただきました。

2日間で開催地来場者2万180名、WEB参加者8059名の合計2万8239名となり、地域の方々や、企業及び自治体関係者等の皆様との交流がますます深まったイベントとなりました。

(産学・地域協働推進機構)

ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言の制定について記者会見を開催

12月2日(木)、本学でダイバーシティ&インクルージョン推進宣言を制定したことに伴い、百年記念会館で記者会見を開催しました。吉見宏理事・副学長(広報室長)の進行のもと、實金清博総長から世界の課題解決に貢献するためには、多様性と包摂(ダイバーシティ&インクルージョン)が

必要であることから、本学の今後の決意を強く発信するために、ダイバーシティ宣言を12月1日(水)付けで策定したことを発表しました。当日は北海道教育庁記者クラブ加盟社から4名の参加がありました。発表者は以下の通りです。

(総務企画部広報課)



記者会見会場



当日の発表者(左から實金総長、山口理事・副学長、長谷山副学長、矢野教授)

(発表者) 實金清博総長／吉見宏理事・副学長(広報室長)／山口淳一理事・副学長(人材育成本部長)／長谷山美紀副学長(男女共同参画・ダイバーシティ担当)／矢野理香教授(人材育成本部ダイバーシティ研究環境推進室長)

コロナ禍で困難化する学生への学生支援(第2回目)を実施

11月12日(金)、札幌キャンパスの学生1500名、同月19日(金)に函館キャンパス200名に対して第2回目の学生支援として生活支援事業を実施しました。学生への支援事業の実施は、第1回目のアンケートの要望を受けて実施したものです。

第1回目は本年6月4日(金)に食料品を中心に支援を実施したところ、学生から大変好評であったこと、第2回目を期待する声があったこと、コロナ禍で

家族からの仕送りやアルバイト収入が減少している学生が多いことから、実施することとしました。

第2回目の支援は、第1回目と同じく北大フロンティア基金を原資とし、お米のほか、トイレレットペーパー、ティッシュ、マスクなどの生活必需品を中心に支援を行いました。

なお、学生へ支援したお米の一部は本学北方生物圏フィールド科学センターが大学敷地内の



配付した支援物資(右下が「北大米」)



札幌キャンパスでの配付の様子



函館キャンパスでの配付の様子

当日は、第1部として講演会を行い、「キャリアパスを考える」のテーマで、7名のメンターに、

本メンターフォーラムを通して、新渡戸カレッジ生は、大学院生活をはじめとする様々な課題・研究に取り組む、将来のキャリアデザインに繋げていくことができるか等について、貴重な洞察を得ることができたようです。(学務部教育推進課)

令和3年度第2回新渡戸カレッジメンターフォーラムを開催

新渡戸カレッジの大学院教育コースでは、12月18日(土)に令和3年度第2回新渡戸カレッジメンターフォーラムをオンラインにて開催しました。



メンターと新渡戸カレッジ生

ご自身のキャリアや実社会における経験に基づくアドバイス等について英語でご講演いただきました。新渡戸カレッジ生は、多様な分野でグローバルに活躍する先輩たちの話に刺激を受け、熱心に耳を傾けていました。続く第2部では、新渡戸カレッジ生が各メンターに自由に質問し対話を行う交流会として実施しました。新渡戸カレッジ生は大学における研究活動及び今後本格化する就職活動等について積極的に質問し、アドバイスをいただくことができました。

メンターフォーラムは、新渡戸カレッジ生が大学院修了後のキャリアを念頭に、カレッジ生自身にとつて身近なロールモデルであるメンターとの交流を通じ、自身のキャリアパスをより具体的に考える機会として、夏と冬の年2回開催されています。

当日は、第1部として講演会を行い、「キャリアパスを考える」のテーマで、7名のメンターに、

水田で収穫した830kg(415名分)の「北大米」(ななつぼし)を使用しました。

今回の支援に対して、学生からの感謝の言葉とともに、今後の大学からの支援への期待も多数寄せられました。(学務部学生支援課)

「2040年に向けた 北海道大学の国際戦略」を策定

12月20日(月)、近年の国内外の主要大学との競争激化や新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大等を踏まえ、本学の新たな国際化に向けた方向性を定めた「2040年に向けた北海道大学の国際戦略」を策定しました。

本国際戦略は、寶金清博総長が就任時に示した『総長方針「比類なき大学」を目指して第4期中期目標期間に向けて』において、教育・研究・社会連携における長期的視点に立った国際戦略の策定の必要性が示されたことを受け、寶金総長の強いリーダーシップの下、各部署への意見照会及び意見交換、経営協議会及びステークホルダー懇話会による外部有識者からの意見を反映し策定しました。本学の国際化を推進してきた「近未来戦略150」の中核となる大学改革プランである「Hokkaidoユニバーサルキャンパス・イニシアチブ」(以後「HUCI」という)が築いた成果を踏まえて、2040年までの中長期的な将来に向かって国際の観点から本学が歩むべき方向性を示しています。

また、それに先立ち、ポストHUCIにおける本学の国際化推進の在り方を再定義し、2つの方向性を明確にしています。第一の方向性を、HUCIの成果を持続可能な形へ見直すための「量的拡大」の路線から教育研究の「質重視」への移行としました。第二の方向性は、新型コロナウイルス感染症拡大を契機に世界で格段に拡がったオンラインによる教育や国際交流の取組の拡充です。

本国際戦略は、HUCIと同様に、教育、研究、社会連携を含む総合的な内容となっております。今後、広く本学関係者が参照すべき指針として活用され、世界の課題解決に貢献する本学の発展に長期的に活かされることが期待されます。

(国際部国際企画課)

北海道知事と道内国立大学 学長との意見交換会を開催

1月26日(水)、北海道知事との意見交換会をオンラインで開催しました。意見交換会には、鈴木直道北海道知事、北海道内の国立大学学長のほか、令和4年4月に設置される国立大学法人北海道国立大学機構の理事長に指名された長谷山彰氏が出席しました。

寶金総長から開会の挨拶の後、鈴木北海道知事からは、令和3年10月に見直しを行った北海道総合計画について説明があり、特にカーボンニュートラルに関して、北海道において2030年までに北海道内の温室効果ガスを実質的にゼロにする「ゼロカーボン北海道」の実現にあたり、各大学に期待することとして、「市町村や企業からの相談窓口の設置」、「学生が地域の脱炭素の取組など現場を学ぶ機会の創出」、「排出事業者としての2030年までのCO2の50%削減」の3点について、各学長へ協力の依頼がありました。

次いで、寶金総長のほか、この日出席



鈴木北海道知事による説明

した、空閑良壽室蘭工業大学長、穴沢眞小樽商科大学長、奥田潔帯広畜産大学長、鈴木聡一郎北見工業大学学長から、各大学のゼロカーボンに関連した取組や地域と連携した取組について説明がありました。

閉会にあたり、寶金総長から「北海道には鈴木知事の下、これだけのアカデミアが揃っていると、これは大変な強みであり、今回の意見交換会を機に、産学官連携を北海道らしい強みとし、北海道総合計画の中に活かしていただきたいと思う。各大学も真正面から取り組みたいと思う。」との挨拶がありました。

(総務企画部総務課)

nano tech 2022に研究シーズを多数出展

産学・地域協働推進機構は、1月26日(水)〜28日(金)に東京ビッグサイトで開催されたnano tech 2022に出展しました。nano tech 2022は、

科学部門野呂真一郎教授
4「規則性合金を用いた高効率触媒反応系の開拓」触媒科学研究所
5「自己規則化ナノ構造を利用した高耐久性滑液表面」工学研究

関係者です。研究開発に直接関わる方々へアピールすることができ、新規市場の開拓や新規事業のパートナー探しに最適な展示会の位置づけとなっております。



ショートプレゼンテーション(リモート)の様子

産学・地域協働推進機構ブースの様子
6「中温領域で作動する直接アンモニア形水素膜燃料電池の開発」工学研究
7「Siフォトリソグラフィを用いたアナログRFID通信のMIMO処理デバイス」情報科学研究院
8「カラー3次元流動空間測定システム」工学研究
9「超音波を用いた流動

2「多孔体内部への無機物質の均一担持に向けた高効率気相プロセス」工学研究
3「金属有機構造体を有する複合材料及びそれを用いたガス分離材」地球環境科学研究院

物性計測装置」工学研究
宇宙航空工学部門 田坂裕司准教授
コロナ禍の影響で今年度の全来場者数は、1万607人とコロナ前の1/5程度でしたが、ブースでは研究代表者によるショートプレゼンテーション(リモート)やサン

「北海道大学オリジナルティー製作プロジェクト」が 新たな北大ブランド認定商品を開発

産学・地域協働推進機構では、北大ブランドの新たな取り組みとして「北海道大学オリジナルティー製作プロジェクト」を進めてきました。



学生プロジェクトメンバー

意見を出し合い、紅茶の味、フレーバー、トッピングなど様々な具体的なアイデアについても議論しました。これらの意見を反映し、株式会社ルピシアの開発部よりノンフレーバーティーが2種、フレーバーティーが2種、パッケージ3種、パッケージ案3種が提示されました。

このプロジェクトは、株式会社ルピシアが北海道ニセコ町に本社を移し、地域との連携を進めていたことから、北海道大学との連携を希望されたことがきっかけとなりました。株式会社ルピシアより学生とのコラボ商品を開発したいとの意向があり、学生に参加の募集をかけたところ、90名もの学生から応募があり、その中から20名の学生を選出しました。様々な学部・学年・出身地の学生が選出され、多様なメンバー構成となりました。

2月14日(月)、試飲選定会を、寶金清博総長及び株式会社ベリッシモの城野祐司代表取締役社長参加のもと、実施しました。新型コロナウイルス対策のため、学生プロジェクトメンバーは別会場に集まり、2会場中継で行われました。株式会社ルピシアにて試作された紅茶(4種、パッケージ(3組))を前に、参加者は悩みながらも、紅茶2種、パッケージ1組を決定しました。

意見をとり入れながら進めてまいりました。これは北大ブランド認定商品の開発として初の試みです。今回開発した「北海道大学オリジナルティー」は3月の卒業式を目的にインフォメーションセンターエールの森内のオリジナルシヨップで販売されます。ぜひ、お試しください。

(産学・地域協働推進機構)

白土博樹教授が 日本学士院賞を受賞



北海道大学教授
白土 博樹氏
(しらとひろき)

【感想】

このたび、日本学士院賞を受賞できることが決定いたしました。医学研究院の最終講義が行われる3日前の3月14日(月)に日本学士院から電話がありました。日本学士院は、福沢諭吉が初代会長で140年の歴史を持ち、日本学士院賞は日本の科学者としての最高峰の賞であるということを知り、大変うれしく思っております。授賞式は6月27日(月)とのことです。

今や、がんは、早期に発見して、手術・放射線・薬剤などで多くの方を治

癒できる時代になっておりますが、依然として日本の死因の第一位であり、まだまだ未解決のことも多い世界の課題です。私は、40年前に放射線治療医の道を歩み始め、同分野の急速な進歩を目の当たりにしてきましたが、実際には、治せない方も大勢おりました。そのような時、私にできることは、診療の合間に、なぜ治らないのかを考え、今までにない治療法を想像し、がんに対する挑戦状としての「研究計画書」を書くことでした。多くの挑戦は計画だけに終わりましたが、その中のいくつかは、医学系研究者・理工系研究者・国内企業など、周りからの大きなサポートが得られ、計画以上に事が進み、自分だけでは成し遂げられないような成果を生みました。北海道大学では、大きなチャレンジをすると、いままでお話したことがなかった教員の方や事務部の方が、想像を超えるご支援をしてくれました。たぶん、教員も職員も、皆がクラーク精神を持っているのだと思われま

す。これは、今後ともそう簡単には消えない、約150年の歴史の重みをもつ、北海道大学の強みであると感じております。本日は、成果物としての医療機器が各国で製造販売承認され、その機器を基にした新医療技術が各国で保険収載されていることを、かつて自分が治せな

かった患者さんとそのご家族に、お伝えしたいところです。今のところ、心の中の戦友であるその方々へ、現在の同じような患者さんにその治療が活用されていることを心中でご報告して、良しとしています。今後は、過去に戻れるタイムマシンの開発してほしいものです。

【略歴】

生年月日	昭和32年3月29日
昭和56年	3月 北海道大学医学部附属病院放射線科 研修医
61年	4月 北海道大学医学部 助手
61年	10月 プリティッシュ・コロンビア大学(バンクーバー カナダ) 客員臨床研究員
62年	10月 クリステイ病院ホルトラジウム研究所(マンチェスター 英国) 客員臨床研修医
平成元年	4月 帯広厚生病院・主任医長
5年	3月 医学博士(北海道大学)
2年	9月 北海道大学医学部附属病院 講師
5年	4月 北海道大学医学部附属病院 助教授
10年	6月 北海道大学大学院医学研究科 教授
18年	10月 北海道大学大学院医学研究科 教授
19年	4月 北海道大学大学院医学研究科 副研究科長
21年	3月 北海道大学教育研究評議会・評議員
20年	4月 北海道大学大学院医学研究科 副研究科長
21年	3月 北海道大学教育研究評議会・評議員
25年	4月 北海道大学国際連携研究教育局・量子理工学グローバルステーション長
26年	4月 北海道大学 ディスティングイッシュドプロフェッサー称号付
令和2年	3月 北海道大学 大学院医学研究科 教授
28年	4月 北海道大学 大学院医学研究科 教授
29年	4月 北海道大学 大学院理工学部長
29年	4月 北海道大学 大学院理工学部長
令和3年	3月 北海道大学 医学研究院 理工学グローバルセンター長
令和2年	4月
令和4年	3月

かたは、ご支援を頂きました。また、話が大きくなりますが、明治維新の頃に札幌の地に札幌農学校を建てた方々、北大の基本理念を打ち立ててくれた方々、激動の約150年間我が国と北海道大学を守ってくれた方々に尊崇の念を抱かざるを得ませ

ん。今回の小生の受賞が契機となり、「日頃のできごとを基にした発想があること」、「北海道大学は自分の自由な発想を生かしてくれる基盤があること」に気が付く後輩たちが少しでも増えれば、幸いです。

【功績等】

がんの放射線治療では、「如何にして周囲の正常細胞に当たる放射線の量と範囲を減らし、がんにだけ放射線を集中するか」ということが、治療戦略上、重要となる。白土博樹教授は、小型脳腫瘍等への±1mmの精度での一回大線量照射のためにプログラムを自主開発し脳定位放射線治療システムの製

品化につなげた。

続いて、「体内で呼吸や腸動などで動いている臓器に発生した小型のがんにどのように正確に放射線を集中するか?」の課題に関して、2方向の直交X線透視撮影で、がん近傍に留置した1.5〜2mmの金マーカーを0.033秒毎にリアルタイムパターン認識技術で自動認識し、計画した3次元位置に金マーカーが位置している間だけ±1.0〜2.0mmの精度で治療用X線の同期照射を行う治療を考案し、腫瘍動体追跡 (real-time tumor tracking) 治療と命名した。動体追跡X線治療装置を国内医療機器製造業者と開発し、周囲正常組織への無駄な照射範囲を1/3〜1/4に抑え、先進医療を経て保険収載に結び付けた。同装置を利用して北海道大病院で1473例(令和3年9月時点)の初期の肺がん・肝がん・前立腺がん等を治療し、体内の動きに関する様々な新知見を発表し、従来のX線治療よりも少ない有害反応(副作用)で手術に匹敵する成績を挙げた。同装置は改良を重ね、現在も15

施設で高精度放射線治療に利用されている。

さらに、大きな腫瘍にも対応できるように、動体追跡技術と粒子線治療技術とを融合し、コストも下げられる小型動体追跡ロボットスキャン型陽子線治療装置を考案し、最先端研究開発支援プログラムにて産学連携で研究開発し、同装置はジョンズホプキンス大学病院・メイヨークリニック・MDアンダーソンがんセンター・シンガポール国立がんセンター等など世界最高峰の14病院に導入された。

過去約20年間において、引用数上位1%の原著論文は8編、上位10%の原著論文は68編であった(Web of Science 令和3年9月14日)。これらの医学研究、医理工学研究において、発案、開発、業機承認・保険収載までの橋渡し研究、国際規格の提案、若手研究者の育成を先導し、「医学上の課題を理工学的な視点で解決する」創造的研究が可能な国際的人材を育てる我が国で初めての大学院医理工学部の開設に尽力した。

北海道大学が「THEインパクトランキング2022」で 総合ランキング世界10位(国内1位)、SDGs 飢餓」の 項目で世界1位にランクイン

イギリスの高等教育専門誌「Times Higher Education」は、「THEインパクトランキング2022」を4月28日(木)に発

表し、本学は総合ランキングの対象となった世界1406大学中、日本初の世界10位(国内1位)にランクインしました。

総合ランキングは各大学のSDGs別に算出されたスコアのうち、必須であるSDG17のスコアと、残りSDG1〜SDG16のうち上位3つのSDGsのスコアの合計で順位が決まります。また、SDG目標別ランキングにおいては、17のSDG目標のうち、「SDG2 飢餓(世界1位)」、「SDG17 パートナリーシップ(同12位)」、「SDG14 海洋資源(同17位)」、「SDG15 陸上資源(同18位)」、「SDG9 産業と技術革新(同43位)」、「SDG16 平和と公正(同61位)」、「SDG6 安全な水とトイレ(同92位)」が世界100位以内にランクインし、高い評価を得ました。

本結果を受け、本学は同日に記者会見を開催し、資金総長、吉見宏理事・副学長、横田篤理事・副学長及び阿部弘副理事が参加して報道関係者向けに本学の取組や今後の展望について語りました。

フィールドサイエンス、環境科学に強みを持っています。より具体的なサステイナビリティへの取り組みとしては、1996年に国立大学で初めて「キャンパスマスタープラン」を策定したことに始まり、昨年の「サステイナビリティ推進機構」の設置に至るまで、数多くの先進的な取り組みを行ってまいりました。本学では今後も、次世代に持続可能な社会を残すための取り組みを一層進めてまいります。

THEインパクトランキング2022とは、イギリスの高等教育専門誌「Times Higher Education」(THEティー・エイチ・イー)による「THEインパクトランキング」のことで、気候変動に対する活動やジェンダーの平等、

資金清博総長のコメント。今回の結果は、本学の長年にわたるSDGs達成へ向けた取り組みが評価されたものと考えており、大変嬉しく思います。本学は1876年設立の札幌農学校を前身としており、食料生産や



当日の参加者

健康と福祉など、大学の社会貢献の取り組みを国連のSDGsの枠組みを使って評価するというものです。今回で4回目となるこのランキングに、本年度は世界1524大学、日本からは84大学が参加しました。

(社会共創部広報課)

「THEインパクトランキング2022」詳細はこちら



シニア向け新築分譲マンション

イニシアグラン札幌はシニア世代に向けた新築分譲マンションです。
常駐のスタッフによる充実したサービス・サポートや
それぞれの用途に合わせた多彩な共用部は通常のマンションには無い
快適で安心の生活を実現してくれます。

イニシアグラン札幌イースト
INITIA GRAN
Sapporo East

イニシアグラン札幌苗穂
INITIA GRAN
Sapporo Naebo



「イニシアグラン札幌イースト」外観完成予想CG



「イニシアグラン札幌苗穂」外観完成予想CG



実際のお部屋や共用施設をご覧ください。

建物内モデルルーム 見学会開催中

完全
予約制

LINE友達登録はこちらから
LINEからご予約も可能です



売主



お問い合わせは「札幌リライフ レジデンスギャラリー」

0120-1248-22 **イニシアグラン札幌** 検索

営業時間:平日11:00~16:00、土日祝10:00~18:00 定休日:水・木・第3火曜日(祝日は営業いたします)
(夏季・年末年始休暇あり)



組織交流委員会主催 丸の内カレッジ オンラインセミナー

・詳しくは東京同窓会メルマガでご案内しております。参加希望者はメルマガよりお申込みください。
・セミナーはZOOMを使って行い、予め参加希望者にZOOMの接続情報をお送りしております。

	日時	タイトル	講演者
第1回	7月 6日(水) 18:30-20:00	『伝える力』で不確実性の時代を生き抜く ーナレーターから企業コンサル、教育までー	渡辺克己
第2回	8月 8日(月) 18:30-20:00	オリイ研究所の挑戦~孤独を解消する~	松谷寛
第3回	9月18日(日) 16:00-17:00	鉄道技術者・大村卓一にみる北大の源流・フロンティア精神①	高津俊司
第4回	10月 9日(日) 16:00-17:00	鉄道技術者・大村卓一にみる北大の源流・フロンティア精神②	高津俊司
第5回	10月30日(日) 16:00-17:00	鉄道技術者・大村卓一にみる北大の源流・フロンティア精神②	高津俊司

多磨霊園墓参の誘い

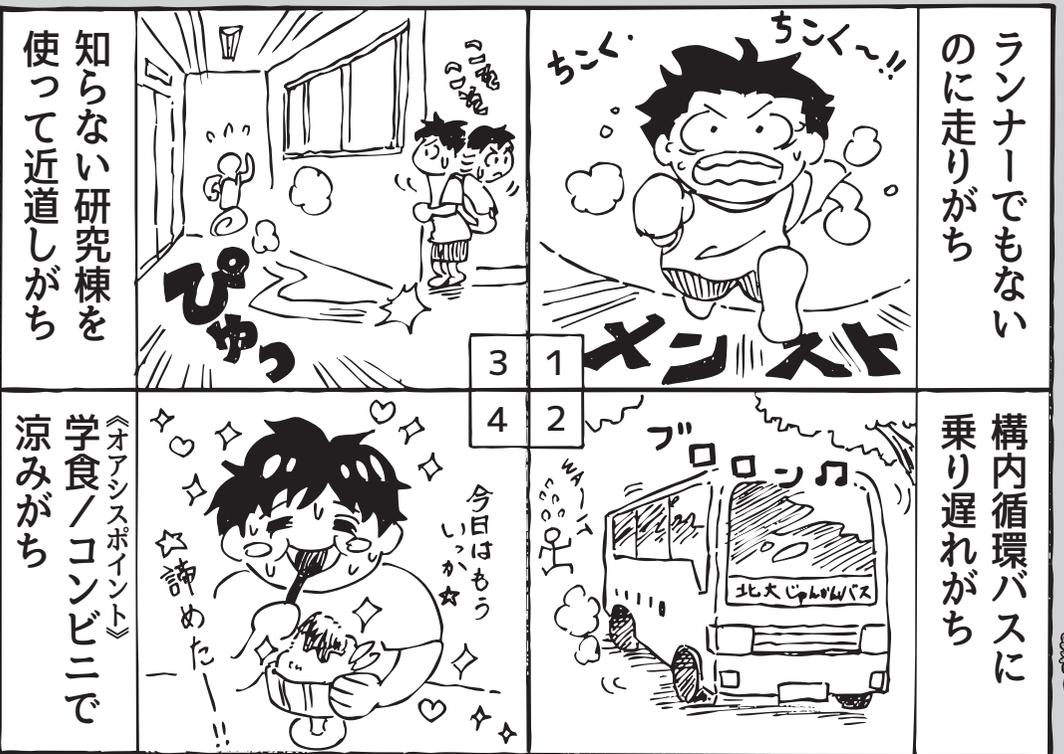
主催:多磨霊園墓参を支持される有志
日時:10月9日(日) 10時30分集合
集合場所:多磨霊園正門松乃家石材店

詳しくは東京同窓会メルマガでご案内いたします。
参加希望者はメルマガよりお申込みください。

訃報

（令和4年7月）、敬称略）
高木宏昭（教育H29）、中村一貴（工院H25）、佐々木拓也（教育H29）、近藤伸一（工S56）、森谷哲志（経H13）、浜谷哲男（工S42）、櫻田誠司（農S60）
丸山恭一（経S31）、大塚光（法S25）、牛腸楨男（工S27）
（令和4年1月以降にご逝去のお知らせをいただいた方々。敬称略）

新入会員



イラスト©高野葵(H25環境科学院)

歳久人の北大あるある



北海道の花

絵と文 鮫島 惇一郎

庭の隅にキキョウがある。これといった世話をするわけでもないのに、今年も枝先に蕾が膨らみはじめる。そうか、もう秋が来たのかと過ぎ去る時をなんとなく懐かしく思うことがある。

枝先に並ぶうす緑の固い蕾、紫がかつた若い蕾など眺めていると、記憶は勝手に中学時代の月日に遡る。

島松地区にある演習廠舎（軍

隊が四季を問わない演習などに使う仮の宿泊所）に薪を運びに出掛けた時だ。まあ勤労働員と歩行訓練であったろう。集合場所は現在の月寒公園下にあるかつての25聯隊の射撃場であった。

国道36号線はまだ砂利道で、床しく「室蘭街道」といった。大曲はその名のおり東へ大きく道が廻っていた。先頭集団を間近にしてすれ違い、お互いに

声をあげて歌いながら島松の廠舎を目指した。

現地では我々の為に、島松や恵庭の女子青年団員が大釜で飯を炊いて、あずき餡まで用意して「ぼた餅」を我々に提供しようとしていたのであったらしいが、慣れない作業だったのだろう、握りがうまく出来ず、餡と飯は別々になってしまった。でもその好意に一同が感謝したことはない。

廠舎の一夜を明かすと今日は「薪運び」。だが薪は生！とにかく重い！二回ほど往復するとさすがに疲れる。一息腰を下ろしてふと後ろを見ると、青空を移したような深い紫の大きな花が幾つか。キキョウたちであった。

この火山灰地に遅く生きるキキョウたちの姿を見ていると疲れているのは何か申し訳ない。もう一頑張りじゃないか！戦後この演習場は自衛隊所属となり、スズランの香りが満ちる頃、日にちを限定して市民に提供していたようだったがどうなったかな？恵庭岳、樽前の山々が見えるあの広々とした原野が何故か懐かしい！

（昭25理・植）



キキョウ

編集後記

■昭和の頃、大学で使うストーブ用石炭の運搬のために大学内に汽車が走っていたという鮫島先生の寄稿文には驚いた。そうした歴史の母校がSDGsな大学として、世界10位・国内トップになったというのも凄いなと思うが（詳細57P）、個人的には煙をモクモクさせた蒸気列車が走るさまに北大らしさを感じてしまう。

さて、コロナ禍のトンネルは長い。健康に気をつけ過ぎているので風邪も引かないのは幸いだ。が、来年の新年交礼会は一同で会したい。

（島田久）

FRONTIER 北海道大学 東京同窓会会報
 第61号 2022年（令和4年）8月20日発行

発行所：北海道大学東京同窓会
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12
 サピアタワー10階
 ☎03-3211-9211 ☎03-3211-9288

Eメール hokudaic@poppy.ocn.ne.jp
 H P http://www.hokudai-tokyo.org/

発行人 横田 浩
 編集人 高橋 寛 島田 久 高野 葵 浦崎 稔史
 山本 淳博 八谷 俊雄 青山 千穂 谷畑 敦史
 陣谷 義直

